



SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

第78回国民スポーツ大会 アーチェリー競技会

限界突破

2024

10/5(土) ▶ 10/7(月)

会場: 鹿島市陸上競技場

主催 公益財団法人日本スポーツ協会・文部科学省・佐賀県
公益社団法人全日本アーチェリー連盟・鹿島市



JSPOマーク

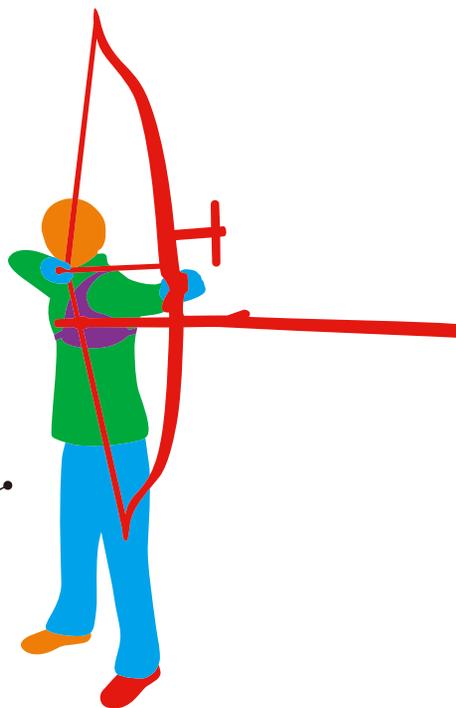
SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

SAGA2024 から、国体の愛称で親しまれてきた「国民体育大会」が「国民スポーツ大会」へ変わります。大会の名称が変わるはじまりの地に選ばれた佐賀県は、すべての人にスポーツのチカラを届ける新しい大会を目指し、さまざまな取り組みにチャレンジします。

リアルアスリート・ピクトプロジェクト

新しい「国民」の「スポーツ」大会だから、みんなで作りたい。そんな思いを込めて制作したピクトグラム。すべて実在するアスリートのシルエットが元になっています。



国スポ 総合開会式

10 / 5 (土)

SAGAスタジアム

佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10



国スポ 総合閉会式

10 / 15 (火)

SAGAアリーナ

佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10



(公財)日本スポーツ協会(JSPO)は、「スポーツは、もっとオモシロイ。」を掲げ、スポーツが誰にとってもオモシロくなり、幅広い世代でスポーツが身近にある社会の実現を目指す『JAPAN GAMES』構想を推進。JSPOと佐賀県は、連携・協働してスポーツの新たな価値を創造します。

大会HP詳しくはこちら

SAGA 2024



目次

あいさつ	1
歓迎のことば	4
国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程	7
国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程	8
大会役員	9
競技会役員	13
競技役員	15
総則	16
実施要項	35
競技日程	40
式次第	41
都道府県参加選手一覧表	42
参加選手一覧（監督・選手）	43
立ち順一覧表	46
成年女子組合せ	47
少年女子組合せ	51
成年男子組合せ	54
少年男子組合せ	58
イリミネーション～ファイナルラウンド組合せ表	61
第78回国民スポーツ大会総合成績一覧表	65
アーチェリー競技について	67
過去の成績一覧	69
国体記録・日本記録・世界記録	83
関係機関・大会関係連絡一覧	84
競技会場案内図	85
記録速報配信サイト	93



あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会

会長 遠藤 利明

国の特別史跡に指定されている「吉野ヶ里遺跡」をはじめとする重要文化財や、ユネスコ無形文化遺産に登録された「唐津くんち」などの伝統的行事が根付く、ここ佐賀県において第78回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に嬉しい限りであります。

スポーツを通じた明るく豊かな国づくりを目指して昭和21(1946)年からスタートした国民体育大会は、今日まで多くの関係者のたゆまぬ努力と情熱に支えられ、我が国最大のスポーツの祭典として発展を遂げ、本年から「国民スポーツ大会」へと名称を変え、新たなスタートを切ります。

今大会は、幅広い世代の人々が、スポーツが身近にある生活を体験出来る社会の実現を目指した「JAPAN GAMES」の取組を本格化し、すべての人に「スポーツの力」を届けることができる大会を目指しております。

スポーツを「する」人、「みる」人、「ささえる」人、すべての方々がスポーツのオモシロさを体現し、スポーツで日本を元気にする大会となることを願っております。

さて、国民スポーツ大会を巡っては、今後の在り方に関して様々なご意見が寄せられておりますが、より魅力ある持続可能な大会とするため、幅広い分野の皆様に参加いただいた有識者会議を設置しております。

今後、検討を進めるに当たっては、今回の佐賀大会における「JAPAN GAMES」をはじめとする新たな取組の成果も充分活かしていきたいと考えております。

今大会は、当初から1年遅れての開催となりましたが、佐賀県の関係者の皆様をはじめ、開催を控えていた各県の皆様方のご協力なくしては実現できなかったものであり、改めてお礼申し上げます。

結びに、今大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元佐賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あいさつ

文 部 科 学 大 臣

盛 山 正 仁

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ佐賀県において第78回国民スポーツ大会「SAGA2024国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

佐賀県は玄界灘、有明海という多くの恵みをもたらす2つの海に面し、広大な佐賀平野やラムサール条約湿地に登録された「東よか干潟」「肥前鹿島干潟」等豊かな自然の魅力にあふれ、国の特別史跡である「吉野ヶ里遺跡」や400年以上の歴史を誇る「有田焼」を有する等、歴史と文化が息づく県です。

昭和51年の若楠国体以来48年ぶりの佐賀県での開催となり、「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」をメインメッセージに、エンタメ性の高い式典、ナイトゲームの開催、スポーツホスピタリティ等、スポーツの可能性を追求する「新しい」取組に挑戦し、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、トップアスリートの育成を通じ、県民がスポーツを「する」「育てる」「観る」「支える」「稼ぐ」というスポーツ文化の裾野拡大を目指し、スポーツのチカラを生かした人づくり、地域づくりを進める「SAGAスポーツピラミッド構想」という「新しい」仕組みも広がっています。国民体育大会から国民スポーツ大会への名称変更後初めての開催にふさわしい、今後のモデルケースとなる魅力的ですばらしい取組となっております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や佐賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

本年はパリオリンピック・パラリンピック競技大会が開催され日本代表選手が大活躍し、国民のスポーツへの関心はますます高まっています。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「SAGA2024国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元佐賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様への御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。

令和6年7月19日



あいさつ

公益社団法人 全日本アーチェリー連盟

会長 世耕 弘成

第78回国民スポーツ大会 SAGA 2024 アーチェリー競技会が「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」のスローガンのもと、佐賀県鹿島市、鹿島市陸上競技場で盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

佐賀県で開催される第78回国民スポーツ大会は、1976年（昭和51年）に開催された第31回大会「若楠国体」以来48年ぶりの開催となります。

1946年（昭和21）年の第1回「近畿国体」開催以来、昭和、平成、令和と70年余年に渡り、国体の愛称で親しまれてきた国民体育大会が、今年の鹿児島国体でその長い歴史に幕をおろしました。

そして今年、佐賀大会から「国民スポーツ大会」に名称が変わります。体育からスポーツへ「スポーツの価値を世界の人々と分かち合い、スポーツを通じた社会変革向けに、世界で広く用いられているスポーツの語を用いるため」です。アーチェリー競技をとおして、する・観る・支える、スポーツ文化の新時代を作っていきましょう。

今年夏にフランスパリで開催された、オリンピック競技大会での日本代表選手団の大活躍に大きな感動と興奮を届けてもらいました。本大会に参加される選手の皆様も、各種大会で優秀な成績を収められ、郷土の誇りを胸に本大会に参加されていることと思います。日頃から心技体にわたり研鑽を重ねられた成果を、余すことなく発揮して競技していただくことを期待しております。

最後に、佐賀県の皆様、そして本日を迎えるにあたり、ご尽力賜りました関係者の皆様や競技会運営に携わるすべての皆様に心からお礼を申し上げ、この大会が成功裡に終了することを祈念いたします。



歓迎のことば

SAGA 2024 実行委員会会長

佐賀県知事 山口 祥義

「すべての人に、スポーツのチカラを。」新しい大会へようこそ。

感動する。魂が揺さぶられる。年齢や国境を超えて、人と人がつながる。心身ともに健やかになる。スポーツには、人間の根源的な喜びを生み出すチカラがあります。

こうしたスポーツの真の価値を大切にす佐賀県では、「SAGAスポーツピラミッド（SSP）構想」と銘打ち、アスリートの人生にコミットした人材育成、セカンドキャリア支援やスポーツビジネスの創出を進めて、アスリートが現役時代も引退後も、キャリアを活かして輝き続けることができる社会の実現を目指してきました。

その中で開催する「SAGA 2024」は、スポーツ新時代を多くの方に実感できる大会として、日本に世界標準のスポーツ文化が根付く転機となると確信しています。

「SAGA 2024」アーチェリー競技会、いよいよスタートです。

佐賀県でアーチェリー競技が行われるようになって以来現在まで、オリンピック選手を輩出するまでに広がりを見せています。相手に勝つという事は己自身に勝つということ。武士道精神のふるさと佐賀ならではの競技なのだと思います。

「SAGA 2024」は“国体”から“国スポ”へと変わる大会です。

競技会では、選手個人にスポットを当てた表彰制度やメダルの授与、ナイトゲームや動画配信により選手の活躍を称え、熱戦をより多くの方に届けます。式典でも新たな演出に取り組みます。総合開会式の自由で楽しさあふれる選手団入場、音と光、映像を最大限に活かした総合閉会式など、大会に関わるすべての人と感動を分かち合います。

選手の皆様には、日々の練習に打ち込んできた情熱と、磨き上げてきた技を、この舞台上で披露していただければ、これ以上の喜びはありません。

佐賀県は、「弥生時代の吉野ヶ里遺跡」、「日本文化が花開いた肥前名護屋城」、「明治維新の礎を築いた偉人の輩出」と三回にわたり日本史転換の舞台となりました。これは「挑戦なくして、伝統なし」のマインドがこの地で培われているからだと考えます。有田焼、佐賀牛、佐賀酒といった文化・食材が世界で高い評価を受けていることもその証です。スポーツの世界も例外ではありません。佐賀県は、先人達の積み重ねに想いを馳せながら、新たな挑戦を続けていきます。

スポーツ新時代の幕が上がる、その瞬間を一緒に体感できることを嬉しく思うとともに、開催にあたり、多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

SAGA2024 鹿島市実行委員会会長

鹿島市長 松尾 勝利

第78回国民スポーツ大会SAGA2024アーチェリー競技会が、ここ鹿島市において全国各地から選手・監督ならびに大会関係者の皆様をお迎えし盛大に開催できることは誠に喜ばしく、鹿島市民を代表いたしまして、心から歓迎申し上げます。

「SAGA2024」は、これまでの“国民体育大会”から“国民スポーツ大会”へと初めて名前が変わる大会です。この新しい大会を盛り上げるため、鹿島市におきましても市民一丸となって準備を進めてまいりました。

アーチェリー競技会では、鹿島市独自の表彰制度“祐徳賞”を創設し、選手個人の活躍にスポットを当てます。会場内では、アーチェリー競技を知ってもらうための解説動画の放映や鹿島の酒の提供など、観客がより一層スポーツ観戦を楽しむ取組を行います。

選手の皆様におかれましては、ふるさとの代表として、これまで積み重ねてきた練習の成果を存分に発揮されるとともに、本大会を通じて全国の仲間と交流を深められ、思い出に残る大会になりますことをお祈り申し上げます。

さて、本市は良質な水と米に恵まれ県下でも有数の酒どころであり、日本一の干満差である有明海が育む有明海苔やムツゴロウ・ワラスボなどの有明海珍味など豊かな食文化があります。また、年間300万人の参拝客が訪れる日本三大稻荷神社の一つ「祐徳稻荷神社」や国の重要伝統的建造物群保存地区として指定された白壁土蔵造りの町家や茅葺町家が残る「肥前浜宿」などの観光地がございます。

ぜひ、この機会に鹿島市の自然や伝統、文化、新鮮な農産物、海産物などの魅力に触れていただき、再び本市にお越しいただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、多大な御尽力と御協力を賜りました関係者の皆様に敬意と感謝を申し上げますとともに、本大会の成功と選手の皆様の御健闘と御活躍を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

佐賀県アーチェリー協会

会長 土井 敏行

第78回国民スポーツ大会SAGA2024アーチェリー競技会が全国から多くの選手・監督ならびに役員の皆様をお迎えし、鹿島市陸上競技場で盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。各都道府県の予選を勝ち抜き、本大会へ出場を果たされた皆さん、誠におめでとうございます。

今大会は、「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」へと名称が変更され、「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」をスローガンのもと開催されます。アーチェリーは、年齢、障がいの有無に関わらず楽しめるスポーツのひとつです。この大会で多くの人がアーチェリー競技にふれ、チャレンジしてもらえるきっかけになればと思います。

選手の皆さんは、ここ鹿島市でこれまでの努力と熱意を胸に、見事なパフォーマンスを発揮してくださることを期待しています。また、全国から様々な選手が一堂に会する絶好の機会でもあります。お互いに切磋琢磨し、交流を深め、この大会を通して築かれる友情や新たな挑戦が、今後の皆さんの成長につながっていることを願っています。

おわりに、本大会の成功を祈念するとともに、本大会開催までに多大なるご支援とご尽力をいただきました佐賀県、鹿島市、公益社団法人全日本アーチェリー連盟、公益財団法人佐賀県スポーツ協会をはじめ関係各位、後援諸団体のご尽力に重ねて感謝を申し上げ、歓迎のことばといたします。



天皇杯

皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第3条 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
- (3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

平成22年3月17日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日(平成23年4月1日)から施行する。

平成30年4月1日一部改訂

令和6年1月1日一部改訂



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第3条 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 責任をもって保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
- (3) 優勝の刻印を次回大会までに行うものとする。ただし、第1条第2項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。
- (4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定

大会役員

2024年7月31日現在
(順不同・敬称略)

名誉会長	盛山正仁				
会長	遠藤利明				
副会長	越川均	坂元要	益子直美	森岡裕策	
顧問	室伏広治	山口祥義			
	伊藤雅俊	森善朗	安西孝之	岡崎助一	
	大野敬三	山本浩	岩田史昭	池田めぐみ	
	今井純子	今浦千信	上島しのぶ	鹿島丈博	
	勝田隆	角屋憲正	刈谷好孝	工藤保子	
	國吉富美子	高井志保	高野瑞洋	田畑綾美	
	靈池恵量	東瀬義人	坂東美紀	松井守	
	丸山由美	室伏由佳	山倉紀子	山下泰裕	
	草野満代	藤田裕司	森井じゅん	室城信之	
	金子日出澄	湯川和之	若月等	土橋登志久	
	石丸元国	石川伸男	坂巻義男	鬼頭有紀子	
	長谷川洋子	吉田長寿	齋木尚子	多賀恒雄	
	安藤淳	上治丈太郎	湧永寛仁	上原絵美	
	佐藤健司	馬場美香	山口宏	南和文	
	宮永美寿津	千田健一	中里壮也	岡本友章	
	大野淳	加藤出	田村恒彦	蒔田実	
	山崎勝洋	眞下昇	山口徹正	田中伸周	
	村田利衛	建部彰弘	市野保己	丸石博	
	中村ゆり子	齋藤良太郎	谷田部和彦	木村博美	
	井上弘	今川啓一	近藤重和	池谷正成	
	大澤明美	古城資久	小野賢二	園山和夫	
	中山俊行	衣笠剛	知念かおる	出口弘之	
	田邊哲人	城門政文	前川恵	上杉晃央	
	布村幸彦	茂野直久	生島典明	大沢陽子	
	谷藤節雄	熊谷幸一	千葉玲佳	奥山雅信	
	穂本哲哉	藤田知巳	石松英昭	田子昌之	
	久保正美	山崎成夫	塩見清仁	田中不二夫	
	井出仁	今西博一	中村宏平	松本智広	
	森山喜博	南部則雄	福永秀樹	高橋繁浩	
	河口端子	増田和伯	中嶋実	山本誠三	

松本恭幸	船田一彦	奥田晃	横尾英治
近藤一幸	小寺洋	河村祐一	渡邊浩三
田中稔	馬越祐希	青木章泰	城戸英敏
旗生康之	小柳勝彦	辛木秀子	宮成康藏
藤本格	岩元幸成	平良朝治	藤原正樹
大河原嘉朗	川上隆弘	佐藤廣子	奈良隆
小菅司	宇津木妙子	菊幸一	小林久美
寺澤正孝	山口純子	あべ俊子	今枝宗一郎
本田顕子	安江伸夫	藤原章夫	矢野和彦
西條正明	寺門成真	尾縣貢	鈴木大地
田嶋幸三	山西健一郎	坂田東一	三須和泰
内田貞信	川合俊一	藤田直志	三屋裕子
富山英明	馬場益弘	砂岡良治	金丸恭文
橋本聖子	安道光二	河田正也	千玄室
中村真一	三宅豊	村井満	松丸喜一郎
網代忠宏	土田雅人	丸誠一郎	福田達夫
世耕弘成	笹川堯	番匠幸一郎	不老安正
久保素子	北川薫	岩城光英	清野智
石井良之	加藤勝信	荒川裕生	柏木清司
達増拓也	鶴田有司	吉村美栄子	北村清士
大井川和彦	福田富一	遠藤祐司	大野元裕
熊谷俊人	山本博	岡田伸浩	花角英世
新田八朗	馳浩	杉本達治	高野剛
阿部守一	田口義隆	中谷多加二	大村秀章
向井弘光	河本英典	西脇隆俊	牧野明次
齋藤元彦	池田誠也	岸本周平	林昭男
丸山達也	越宗孝昌	苺田知英	村岡嗣政
柿内慎市	槇田實	大塚岩男	服部誠太郎
大石賢吾	甲斐隆博	麻生益直	春山豪志
塩田康一	玉城ゲニ一	原口一博	岩田和親
大串博志	古川直美	福岡資磨	山下雄平
大江場芳博	甲斐直美	奥田律雄	井上伸一
江里口秀次	田島健一	山口弘展	上田利治

参	与	橋 場 健	大 杉 住 子	西久保 弘 克	留 守 茂 幸
		武 藤 明 美	木 原 奉 文	徳 光 清 孝	藤 崎 輝 樹
		江 口 善 紀	古 賀 陽 三	中 本 正 一	一ノ瀬 裕 子
		青 木 一 功	木 村 雄 一	富 田 幸 樹	田 中 秀 和
		桃 崎 祐 介	酒 井 幸 盛	指 山 清 範	中 村 圭 一
		下 田 寛	野 田 勝 人	岡 口 重 文	弘 川 貴 紀
		猪 村 利恵子	石 丸 太 郎	土 井 敏 行	坂 口 祐 樹
		藤 木 卓一郎	池 田 正 恭	石 井 秀 夫	八 谷 克 幸
		古 川 裕 紀	宮 原 真 一	古 賀 和 浩	原 田 寿 雄
		石 倉 秀 郷	定 松 一 生	落 合 裕 二	南 里 隆
		牟 田 清 敬	加 藤 雅 世 子	飯 盛 清 彦	飯 盛 裕 介
		荒 木 薫	長 村 順 也	愛 野 時 興	岩 瀬 豊 美
		末 次 康 裕	陣 内 芳 博	野 田 亮	吉 松 幸 宏
		深 草 光 明	竹 田 敬 道	廣 重 昭 博	吉 田 聖 之
		中 村 直 人	峰 英 太 郎	園 田 耕 太 郎	大 島 信 之
		西久保 敏	川 寄 和 正	志 田 正 典	南 里 玲 子
		平 川 幸 雄	松 田 孝	大 竹 義 治	牛 島 英 人
		谷 政 司	吉 田 彰 友	山 口 七 重	内 田 伸 也
		秀 島 寛	小 松 政		
委 員 長		山 本 浩			
副 委 員 長		岩 田 史 昭	日 比 謙 一 郎	宮 原 耕 史	
総 務 委 員		川 原 貴	菅 原 哲 朗	ヨーコ セッターランド	二 宮 智 浩
		加 藤 光 国	松 田 基 子	松 永 敬 子	三 ヶ 田 礼 一
		森 丘 保 典	守 屋 志 保	辻 睦 弘	廣 田 暢 実
		宮 野 欣 也	樋 口 和 彦	出 崎 和 夫	宇 野 武
		野 口 友 里	加 藤 弘 和	小 澤 大 樹	塚 原 弘 幸
		森 岡 貴 之			

委	員	平野了	高橋聖一	吉村政弘	松本康夫
		能村卓	栗原崇	細野光史	小泉芳孝
		佐久間裕司	品田奥義	濱野勉	寺澤淳
		黒川重男	舟喜信生	高野修	中梶秀則
		安藤正美	加藤憲二	宮川良輔	鈴木章広
		川口巖	和田潔	岡泉茂	田口大祐
		平井宏治	岸川剛之	西原斗司男	菅原正幸
		高橋昇	長南哲生	衛藤敬輔	渡辺久雄
		三井千壽	鈴木信吾	山中博史	井本亘
		関根明子	中山二三男	越前浩司	吉田由美子
		杉本好二	東野真理子	田中徹	川口雅三
		金子和裕	品治恵子	富澤佑也	小竹純太
		政岡航大	小河原百映	田口雅紀	吉丸尚宏
		宇田俊太郎	西口卓司	鈴木宏幸	宮村元忠
		高階匡平	松井直樹	坂本雄大	鈴木清史
		見田茂樹	大泉定幸	金丸利博	高橋直史
		山形信一	神久直巳	高野正規	岩埜貴人
		小林雄一	深谷祐紀	矢島裕久	金田克行
		新保暢	江野浩一郎	児玉晶香	井澤隆司
		近本彰	大村文孝	松井直樹	藤田健二
		西島義典	井上哲	木原哲也	高橋浩二
		宮崎聖之	田伏利久	田中将	渡部秀夫
		山本浩司	田口新也	伊藤啓一郎	青木一成
		渡邊浩司	辻岡英幸	三谷哲生	中野美和
		松山度良	濱本昌宏	佐保宏二	横山雅也
		徳田清信	宮城直人	遠藤信哉	千葉延和
		菅間裕晃	庄司忠男	細貝和司	竹内芳彦
		北野善樹	北村正博	武田知己	木平吉也
		今井良広	山崎嘉彦	田部長右衛門	住吉吉也
		荒木健治	西村浩二	渡嘉敷通之	綾部吉也
		木塚俊博	北村志帆	瀬戸要	川原恵
		田久保真美	遠藤彰		

競 技 会 役 員

(順不同・敬称略)

競技会名誉会長	松尾	勝利								
競技会会長	世耕	弘成								
競技会副会長	土井	敏行	織田	正道	嶋江	克彰				
競技会顧問	久保	允誉	飯塚	十朗	末田	実	島田	晴男	宮崎	利帳
	穂苅	美奈子	松木	謙公	手塚	義浩	高橋	克宏	小野寺	寛一
	向島	偕	後藤	正博	渡邊	正仁	中川	喜久治	山田	美也子
	岩井	均	松崎	慶喜	斉藤	守	松本	洋平	竹内	英明
	野口	英二	金子	健三	村上	正之	川上	浩	紐野	義昭
	畑	孝幸	竹内	良訓	鈴木	和也	田中	祐治	田中	尚一郎
	岩崎	賢	神谷	育孝	宗清	皇一	辰馬	建仁	橋本	和典
	杉原	弘一郎	森山	健一	小川	健	三池	孝尚	森	裕之
	岡田	理絵	貞本	和彦	西森	雅和	加地	邦雄	佐藤	了
	福原	俊明	佐藤	郁夫	凶師	博規	藪田	裕之	新城	敦志
	小淵	優子	山内	守明	徳村	博紀	中村	和彦		
競技会参与	中村	和典	松尾	征子	福井	正	伊東	茂	角田	一美
	勝屋	弘貞	松田	義太	中村	一堯	樋口	作二	杉原	元博
	池田	廣志	中村	日出代	笠継	健吾	宮崎	幸宏	釘尾	勢津子
	鳥飼	広敬	池田	正明	吉田	美砂子	岡田	和人	山口	知子
	栢森	久	山下	義則	峰松	弥生	今村	雅弘	森元	義光
	田中	寿一	中原	彰宏	馬場	智生	吉良	孝広	江口	孝之
	片淵	千佳	鶴	登	北村	和博	中島	光秋	近藤	鎮彦
	江口	英子	山口	清美	幸尾	和浩	片淵	清次郎	釘尾	学
	森	孝一	鶴	克次	中島	龍	吉牟田	晋悟	堀	政海
	中村	邦子	山本	孝義	山本	浩二	中村	雄一郎	納富	貴
	光武	正彦	占部	康幸	森田	良助	馬場	悦郎	峰松	伸次
	諸岡	文男	竹下	宏紀	川原	逸生	岩下	善孝	山崎	公和
	山浦	康則	村田	敏樹	藤家	隆				
競技会委員長	田中	伸周								
競技会副委員長	野口	利雄	峰松	幸弘						

競技会委員	岡野	悟郎	砂盛	京子	松丸	喜一郎	桜木	由美子	塩飽	泰啓
	中野	真希	河合	徳之	吉成	謙	高坂	幸美	高山	樹里
	小杉	理加	及川	万希	永尾	嘉教	菅原	正幸	藤川	毅
	野崎	剛	西川	定	楨	智洋	今江	吉則	小松	悠也
	堤	勇樹	佐藤	恵理子	森田	裕介	河上	智也	打越	大輔
	岩田	健祐	末武	寛基	打谷	桂子				

総 則

開催の趣旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

佐賀県で開催する第78回国民スポーツ大会「SAGA2024」は「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」をメインメッセージに掲げ、「する」「観る」「支える」の視点から、選手も、選手でない人も参加できる大会、エンターテインメント性の高い大会、みんなで力を合わせ、つくる大会をコンセプトに、体育からスポーツに変わる、今だからこそ、すべての人にスポーツのチカラを届ける新しい大会を目指して開催する。

実施方針

1 実施競技

(1) 正式競技 (37 競技)

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 公開競技 (7 競技)

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

(3) デモンストレーションスポーツ (28 競技)

合気道、アジャタ、いごてだま、ウォーキング、草スキー、クップ、皿かぶり競走、さわやかグラウンド・ゴルフ、3B体操、室内ペタンク、シャッフルボード、スカットボール、スケートボード、スポGOMI、スポーツウエルネス吹矢、スポーツチャンバラ、ソフトバレーボール、滝登り、チャレンジ・ザ・ゲーム、パークゴルフ、バグジー、ビリヤード、フライングディスク、マリンスポーツ、ユニカール、ラージボール卓球、ラダーゲッター、ロープ・ジャンプ・X

(4) 特別競技 (1 競技)

高等学校野球

2 会期及び会場地

(1) 正式競技・特別競技（13市、11町：計24市町）

会 期	会 場 地
2024年10月5日（土） ～10月15日（火） 〔11日間〕	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町、玄海町、有田町、大町町、江北町、白石町、太良町、大分県日田市、兵庫県三木市
2024年9月5日（木） ～9月17日（火） 〔13日間〕	佐賀市、伊万里市、鹿児島県湧水町 ※ 水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレー）、体操（体操競技、トランポリン）、カヌー（SL・WW）競技会は上記会場地で実施
2024年9月21日（土） ～10月1日（火） 〔11日間〕	佐賀市、唐津市、鳥栖市、神埼市、大分県由布市 ※ サッカー、テニス、体操（新体操）、セーリング、ソフトテニス、ライフル射撃、剣道、クレー射撃競技会は上記会場地で実施

(2) 公開競技（6市、1町：計7市町）

会 期	会 場 地
2024年8月24日（土） ～9月22日（日）	佐賀市、唐津市、鳥栖市、武雄市、鹿島市、嬉野市、基山町

(3) デモンストラレーションスポーツ（7市、8町：計15市町）

会 期	会 場 地
2024年4月21日（日） ～10月13日（日）	佐賀市、唐津市、鳥栖市、武雄市、鹿島市、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、有田町、大町町、江北町、白石町、太良町

(4) 文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2024年4月1日から2024年12月31日までの期間で、原則として、県内市町で開催する。

3 競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査及びアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」及び別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例（TUE）」の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が18歳未満の場合、本人の署名及び親権者の署名がある同意書を所持すること。

5 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

選手及び監督の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第78回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【 公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/> 】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

- a 「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生又は生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に1年以上在籍していること。
- b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」又は「定住者」に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

- a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。
- b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ウ)bについて、大学及び専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）と体育・スポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 第77回又は2023年開催の特別大会（都道府県大会及びブロック大会を含む）において選手又は監督として参加した者は、次の場合を除き、第77回又は2023年開催の特別大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

- a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者
- b 結婚又は離婚に係る者

[注] a及びbは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

- a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者

- b 結婚又は離婚に係る者
- c 一家転住に係る者（別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）
[注] aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。
- d JOCエリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）
- e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）
- f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 選手、監督並びに本部役員帯同のスポーツドクター及びアスレティックトレーナーは、大会参加前の1年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

- (ア) 都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。
- (イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。
- (ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 勤務地
- (ウ) ふるさと（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）
- (ウ) 勤務地
- (エ) 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2024年4月30日以前から本大会終了時（2024年10月15日）まで、引き続き当該地に、それぞ

れ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

- a 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- b 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者
- b 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- d 別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

- (ア) 成年種別に参加する者は、2006年4月1日以前に生まれた者とする。
- (イ) 少年種別に参加する者は、2006年4月2日から2009年4月1日までに生まれた者とする。
- (ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2024年4月1日を基準とする。

イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（2009年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者）とする。

- (4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会及び当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する。

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

- (1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別	4人以下	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5人以上7人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点
種目	—————	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

[注] 「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

(3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表彰

(1) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

(2) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(3) 各正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。

(4) 各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(5) 各競技の各種別及び各種目などの第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、更にその都道府県名と個人名を記載したもの、又は都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 参加申込方法

(1) 参加申込

都道府県体育・スポーツ協会会長（代表者）及び競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込みものとする。

(2) 参加申込締切

参加申込は、定められた締切日までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。なお各競技別実施要項の「参加申込み方法」を併せて確認すること。

(3) 参加申込締切日

締切日	競技
2024年 8月15日(木) 【5競技】	水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、カヌー
2024年 8月28日(水) 【12競技】	サッカー、レスリング、セーリング、自転車、ソフトテニス、相撲、ライフル射撃、剣道、クレー射撃、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

2024年 9月4日(水) 【22競技】	陸上競技、テニス、ホッケー、バレーボール(6人制)、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球
----------------------------	---

(4) 参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5) 公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

(6) 選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛に届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ SAGA2024実行委員会事務局

ウ SAGA2024各競技会場地市町実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

(1) 大会に参加選手団(視察員を除く)を派遣する都道府県体育・スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人当たりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区 分	負 担 金
少年の種別に参加する選手	3,000円
上記以外の者(本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等)	6,000円

[注] 地震、風水害、感染症およびその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金は行わない。

(2) 大会参加負担金は、都道府県体育・スポーツ協会に取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限 2024年9月5日(木)

イ 納入先 みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729
公益財団法人日本スポーツ協会

11 宿泊申込

大会参加者は、SAGA2024実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

12 都道府県選手団本部役員編成

- (1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。
 - ア 参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 20 名以内とする。
 - イ 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 15 名以内とする。
 - ウ 参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 10 名以内とする。
- (2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。
- (3) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。
- (4) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。

なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。
- (5) 都道府県選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)及び(2)による人数を上限とする。
- (6) 都道府県選手団本部役員の参加申込は、2024 年 9 月 4 日（水）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13 視察員

- (1) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、2025 年以降の国民スポーツ大会の開催が決定又は内定している県については、滋賀県 100 名以内、青森県及び宮崎県 60 名以内、長野県及び群馬県 40 名以内とする。
- (2) 都道府県の視察員の参加申込は、2024 年 9 月 4 日（水）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14 大会参加章、記念章及び AD カードの交付

大会参加章、記念章及び AD カードは、次の者に交付する。

- (1) 大会参加章
都道府県選手団本部役員、監督及び選手並びに大会役員、競技会役員及び競技団体が指定した競技役員
- (2) 記念章
公開競技・デモンストレーションスポーツ参加者
※ 公開競技参加者への交付は、中央競技団体との協議による。
- (3) AD カード
都道府県選手団、公開競技に参加する選手・監督及び役員、大会役員・競技会役員及び競技団体が指定した競技役員、大会主催者及び競技会主催者が認めた者には AD カード (Accreditation Card) を交付する。

15 参加上の注意

- (1) 大会期間中は、交付された AD カードを携帯しなければならない。
- (2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユ

ニフォームを着用しなければならない。

16 個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、SAGA2024実行委員会、SAGA2024各競技会場地市町実行委員会及び国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) 総合プログラム及び競技別プログラムへの掲載
- (イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介
- (ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載
- (エ) 大会関連ホームページへの掲載
- (オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) SAGA2024実行委員会が設置する記録本部を通じた公開
- (イ) 国スポ関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載
- (ウ) 国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載
- (エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等】

(2) 肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD等に編集され、販売・配付されることがある。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17 都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

(1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会及び中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会及び中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

(2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

(3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込み。

なお、参加は1人1競技に限る。

(4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会及び当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

(5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

(6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

(7) 競技運営に差し支えない限り、佐賀県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会及び都道府県体育・スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

(1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員並びにその他選手団役員とする。

(2) 大会参加の都道府県体育・スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり1,000円）を、日本スポーツ協会に納入する。

(3) 納入締切日及び納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県体育・スポーツ協会へ通知する。

19 SAGA2024の取り組み

(1) 選手の活躍にスポットを当てた表彰

選手の活躍は、観る人、支える人などにとって「感動する。魂が揺さぶられる」など「スポーツのチカラ」を多くの方に届けることができる。それぞれの選手の活躍にスポットを当てた「称える・伝える」表彰制度を創設し、表彰する。

(2) 観戦機会の拡大

「すべての人に、スポーツのチカラを。」の実現に向け、全国で大会の観戦・応援ができる環境づくりとしてインターネットを活用した正式競技の動画配信に取り組む。また、「一人でも多くの方に会場で観戦・応援を楽しんでほしい。」という思いから、夕方以降の試合が可能な一部の競技においてナイトゲーム開催に取り組む。

(3) 健康づくりの推進

健康増進法（平成14年法律第103号）の趣旨に鑑み、開・閉会式会場及び競技会場を原則禁煙とする。また、望まない受動喫煙を生じさせることがないように、大会参加者は、会場周辺の道路や駅、一般の店舗等における受動喫煙防止についても十分な配慮すること。

20 その他

(1) 参加申込及び宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、又は、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

(2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。

(3) その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項及び同細則による。

別記1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

- 1 成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号及び第10項第4号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。
 - (1) 居住地を示す現住所
 - (2) 勤務地
 - (3) ふるさと
- 2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOCエリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。
- 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者及び「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者および『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の4月30日（冬季大会は前年の4月30日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。
- 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。
- 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
- 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。

別記2 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1-③）に抵触しないものとする。
 - (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号及び第10項第4号（参加資格及び年齢基準等）〕及び別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民体スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-2)-②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規程する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注] 本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容が JOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記4 「トップアスリーの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリーの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第32回オリンピック競技大会（2021年・東京）に参加した者。
- (2) 2024年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者

ア JOCオリンピック強化指定選手

イ 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者

ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2024年4月30日以前から大会終了時（2024年10月15日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2024年4月30日以前から大会終了時（2024年10月15日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。
- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③のとおりとする。

別記5 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県との6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県(以下「特例対象県」という。)とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手及び監督は、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日(震災発生時)時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2024年4月30日以前から大会終了時(2024年10月15日)まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第77回または2023年開催の特別大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2024年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から 2023 年開催の特別大会または第 78 回大会に参加した者が、第 79 回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項-(1)-1)-③ (国内移動選手の制限) には抵触しないものとする。

<例> ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度（小学校は2015年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

別記6 「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2024年1月1日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2024年4月30日以前から当該大会終了時（2024年10月15日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第77回大会または2023年開催の特別大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2024年1月1日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2024年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場

することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から 2023 年開催の特別大会または第 78 回大会に参加した者が、第 79 回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

- ＜例＞
- 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
 - 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合
 - 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度(小学校は2028年度)までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

実 施 要 項

1 期 日 2024年10月5日(土)から10月7日(月)まで(3日間)

種 別	10月5日(土)	10月6日(日)	10月7日(月)
成年女子 少年女子	午前 ※用具再検査・全種別 (再検査と未実施のみ) 練習・競技 (クオリフィケーション ラウンド)	競技 (イリミネーションラウ ンド～セミファイナル)	競技 (ファイナルラウンド) ブロンズメダルマッチ ゴールドメダルマッチ
成年男子 少年男子	午後 練習・競技 (クオリフィケーション ラウンド)		

※1 用具検査は10月4日(金)13:00～15:00に用具検査テントで行い、10月5日(土)の用具検査(全種別8:30～9:00)は、10月4日(金)に未実施のものと、再検査のみとする。

※2 練習会場は、10月4日(金)～7日(月)まで鹿島市陸上競技場サブグラウンドに開設する。開設時間は原則として4日～6日8:30～16:00、ただし7日(月)8:30～11:30までとする。

2 会 場 鹿島市 鹿島市陸上競技場 (練習会場 鹿島市陸上競技場サブグラウンド)

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加都道府県	小計(選手計)	合計(選手・監督)
成年男子	52名 1都道府県 2名以内	3	24	72	280
成年女子		3	24	72	
少年男子		3	14	42	
少年女子		3	14	42	

※ 監督配置数の調整方法

(1) 参加都道府県に必ず1名を配置する。

(2) 上記(1)により配分した人数を52名から差し引いて得られた人数を次のアからカの順で、それぞれに該当する都道府県に対し各1名を上限に配置する。

ア 少年男子・少年女子・成年男子・成年女子の全種別に参加する都道府県

イ 少年男子と少年女子の両種別と成年男子と成年女子のいずれかに参加する都道府県

ウ 少年男子と少年女子のいずれかと成年男子と成年女子の両種別に参加する都道府県

エ 成年男子と成年女子のいずれにも参加せず、少年男子と少年女子の両種別に参加する都道府県

オ 少年男子と少年女子のいずれかと成年男子と成年女子のいずれかに参加する都道府県

カ 少年男子と少年女子のいずれにも参加せず、成年男子と成年女子の両種別に参加する都道府県

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技上の規程

ア 全日本アーチェリー連盟競技規則「ターゲットアーチェリー」による。

イ 競技は、クオリフィケーションラウンド及びイリミネーションラウンド及びファイナルラウンドとする。

ウ 参加資格に不備や虚偽の者が出場した場合には、そのチームを大会から除外して行う。

(2) 競技の方法

ア クオリフィケーションラウンドは、70mラウンドで実施する。

イ クオリフィケーションラウンドは、1 標的 3 名の行射で、A・B・C の 1 立ち制とする。

ウ イリミネーションラウンド進出チームは、成年 16 チーム、少年 8 チームとする。但し、1 位から 16 位まで、又は 1 位から 8 位までに同順位及び 16 位、8 位に同順位が出た場合は、全日本アーチェリー連盟競技規則（第 208 条 5 項）により順位を決定する。

エ イリミネーションラウンド及びファイナルラウンドは、オリンピックラウンドで実施する。なお、5 位から 8 位までの順位は、1/4 ファイナルのポイント数で順位を決定する。獲得ポイント数が同数の場合は、全日本アーチェリー連盟競技規則（第 208 条 5 項）により順位を決定する。

オ 出場選手・監督の変更は、監督会議時に発表する。

5 予選方法

(1) 予選方法は、各都道府県大会及び各ブロック大会とし、それぞれの大会は本大会の実施要項に基づき、各都道府県大会は 70m を含む競技により実施するものとし、各ブロック大会は、70m ラウンドで実施するものとする。

(2) 出場者は、全日本アーチェリー連盟に登録を完了し、「A・J・A・F ターゲットスターバッジ」の資格を取得している者とする。

(3) 各都道府県協会（連盟）は、都道府県大会を実施し、ブロック大会及び本大会に出場する種別代表選手を決定する。

(4) ブロック大会は、所属都道府県協会（連盟）の共催のもとに開催地協会（連盟）が主管して実施し、期日、会場、実施方法については当該都道府県体育・スポーツ協会と協議の上決定し、本大会に出場する代表都道府県を決定する。

(5) ブロック大会区分及び代表都道府県数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都 道 府 県 名	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
北海道	北海道	1	1	1	1
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	3	3	2	2
関 東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	4	4	2	2
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	2	3	1	1
東 海	静岡、愛知、三重、岐阜	2	2	1	1
近 畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	3	3	2	2
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	3	2	1	1

四 国	香川、徳島、愛媛、高知	2	2	1	1
九 州	福岡、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	3	3	2	2
開催県	佐賀	1	1	1	1
計		24	24	14	14

6 予選結果の報告

- (1) 各都道府県協会（連盟）は、ブロック大会開催2週間前までに、立順が記載された全選手の前年度の都道府県大会予選の成績表（A4）1部をブロック大会の開催地協会（連盟）事務局宛に提出すること。
- (2) ブロック大会の開催地会長は、ブロック大会終了後翌日に、前項の都道府県大会予選及び各ブロックの成績一覧表（A4）1部を全日本アーチェリー連盟宛に報告すること。

7 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 参加選手は、本年度の全日本アーチェリー連盟に会員競技者登録を完了し、「A・J・A・Fターゲットスターバッジ」の資格を取得している者。監督は、本年度の全日本アーチェリー連盟に会員登録を完了し、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認アーチェリーコーチ1、公認アーチェリーコーチ2、公認アーチェリーコーチ3、公認アーチェリーコーチ4のいずれかの資格を有する者であること。
- (2) 各予選の結果、代表として選抜された選手をもってチームを編成しなければならない。
- (3) 少年種別に参加できる選手には、2009年4月2日から2010年4月1までに生まれた中学3年生を含む。
- (4) 選手、監督の兼任はできない。
- (5) 本項に定める事項は、都道府県大会にも適用する。

8 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	各種別とも1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位12点、6位9点、7位6点、8位3点の競技得点を与える。ただし、同点の場合はその順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお、得点は次の順位のものに加え、当該都道府県で等分する。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

9 表 彰

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績1位から8位までの都道府県に、表彰状を授与する。

- (2) 男女総合成績1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種別団体及び各種別個人の第1位から第8位までに、賞状を授与する。

10 参加申込方法

- (1) 所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県体育・スポーツ協会を通して、2024年9月4日（水）までに申込み手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスができなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込み締切後の選手・監督の変更は、疾病、傷病等特別な場合のみ認める。

なお、変更する場合は、下記のア、イ、ウの事務局宛に文書で、監督会議前日までに届けなければならない。

ア 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘4番2号

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 707号室

公益社団法人全日本アーチェリー連盟

TEL 03-6459-2812 FAX 03-6459-2813

イ 〒840-8570 佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号

SAGA2024実行委員会事務局

（佐賀県SAGA2024・SSP推進局

SAGA2024競技運営チーム 国民スポーツ大会担当）

TEL 0952-25-7405 FAX 0952-25-7354

ウ 〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1

SAGA2024鹿島市実行委員会事務局

（鹿島市教育委員会国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進室）

TEL 0954-63-2125 FAX 0954-63-2313

なお、公益財団法人日本スポーツ協会に対して、大会終了後、別途、所定の手続きにより、参加申込情報を修正すること。

11 参加上の注意

- (1) 参加出場者のユニフォームは、チーム内が単一のもので上衣には都道府県名が明記され、下衣は統一されたものであり、競技会場・練習会場においては監督・選手とも全日本アーチェリー連盟競技規則による統一されたユニフォームを着用すること。
- (2) 選手の事情により得点記録に代行者が必要な場合は、監督会議前日までに届け出なければならない。また、代行者はチーム内の監督または同様の選手とし、服装は選手と同様とする。
- (3) 監督は、交付される監督ADカードを当該種別競技中、視認できる箇所に付けなければならない。
- (4) 用具検査時には、監督は資格を証明する登録証を提示する。選手は全日本アーチェリー連盟の会員証と「A・J・A・Fターゲットスターバッジ」を提示すること。
- (5) 表彰式には、監督・選手ともユニフォームを着用し、必ず参加すること。
- (6) 開催地において配宿する人数は、原則としてエントリー数のみとする。
- (7) 監督会議には、監督は全員必ず参加すること。

12 その他

(1) 組合せ抽選会議

日 時 2024年9月7日(土) 午前11時
場 所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内会議室
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘4番2号
TEL 03-6459-2812 FAX 03-6459-2813

(2) 監督会議

日 時 2024年10月4日(金) 午後4時
場 所 鹿島市陸上競技場
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分5900番地

(3) 競技役員会議

日 時 2024年10月4日(金) 午前10時
場 所 鹿島市陸上競技場
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分5900番地

(4) 表彰式

日 時 (個人)
2024年10月5日(土) 午後4時～午後4時30分
(種別・総合)
2024年10月7日(月) 午後3時～午後3時40分
場 所 鹿島市陸上競技場
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分5900番地

競 技 日 程

競技役員会議	10月4日(金) 10時00分	鹿島市陸上競技場
監督会議	10月4日(金) 16時00分	鹿島市陸上競技場

月日 会場	10月5日(土)	10月6日(日)	10月7日(月)
鹿 島 市 陸 上 競 技 場	用具再検査・全種別(未実施チームのみ) 8:30~9:00	練習ゾーン開設 11:20~14:55	練習ゾーン開設 8:30~13:35
	競 技 (クォリフィケーションラウンド)	競 技 (イリミネーション~ セミファイナルラウンド)	競 技 (ファイナルラウンド)
	成年女子	1/8イリミネーション 成年女子	ブロンズメダルマッチ 少年女子
	少年女子	練習(4分×2 + 2分×2)	競 技 9:00~ 9:30
	練習 9:10~ 9:40	競 技 9:00~ 9:30	少年男子
	競 技	成年男子	競 技 9:40~10:10
	1回目 9:55~10:50	練習(2分×2)	成年女子
	2回目 11:00~11:55	9:40~ 9:50	競 技 10:20~10:50
	成年男子	競 技 9:50~10:20	成年男子
	少年男子	1/4ファイナル	競 技 11:00~11:30
練習 12:40~13:10	少年女子	ゴールドメダルマッチ 少年女子	
競 技	練習(2分×2)	競 技 11:45~12:15	
1回目 13:25~14:20	10:30~10:40	少年男子	
2回目 14:30~15:25	競 技 10:40~11:05	競 技 12:25~12:55	
	少年男子	成年女子	
	練習(2分×2)	競 技 13:05~13:35	
	11:15~11:25	成年男子	
	競 技 11:25~11:50	競 技 13:45~14:15	
	成年女子		
	競 技 12:00~12:25		
	成年男子		
	競 技 12:35~13:00		
	セミファイナル		
	少年女子		
	競 技 13:10~13:35		
	少年男子		
	競 技 13:45~14:10		
	成年女子		
	競 技 14:20~14:45		
	成年男子		
	競 技 14:55~15:20		

種別個人表彰式	10月5日(土) 16時00分	鹿島市陸上競技場
表 彰 式	10月7日(月) 15時00分	鹿島市陸上競技場

- ※ 用具検査は、10月4日(金)13:00~15:00に用具検査テントで行います。
- 練習会場は、10月4日(金)~7日(月)まで鹿島市陸上競技場サブグラウンドに開設します。
- 開設時間は、原則として8:30~16:00。ただし、7日(月)のみ8:30~11:30までとなります。
- ※ 競技日程及び組合せ表は、変更となる場合があります。

式 次 第

種別個人表彰式		
日時	令和6年10月5日（土）	
開式	16時00分	
会場	鹿島市陸上競技場 (式典会場)	
順序	式次第	時刻
	整列完了	15:58
1	種別個人表彰式開式通告	16:00
2	種別個人成績発表・賞状授与	16:01
3	祐徳賞発表・メダル授与	16:20
4	開催地市長あいさつ	16:25
5	閉式通告	16:29
6	選手団解散	16:30

種別団体表彰並びに総合表彰式		
日時	令和6年10月7日（月）	
開式	15時00分	
会場	鹿島市陸上競技場 (式典会場)	
順序	式次第	時刻
	整列完了	14:58
1	種別団体表彰式開式通告	15:00
2	種別団体成績発表・賞状授与	15:01
3	総合表彰式開式通告	15:21
4	綜合成績発表・表彰状授与	15:22
5	大会会長トロフィー授与	15:28
6	競技会会長あいさつ	15:30
7	歓送のことば	15:35
8	競技会終了宣言	15:39
9	閉式通告	15:40
10	選手団解散	15:41

都道府県参加人数一覧表

ブロック	種別 県名	監督	参加選手数				計	ブロック	種別 県名	監督	参加選手数				計
			成年男子	成年女子	少年男子	少年女子					成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	
北海道	北海道	2	3	3	3	3	14	近畿	滋賀県	2	3	3		3	11
東北	青森県	2	3	3	3	3	14		京都府	1		3			4
	岩手県	1		3	3		7		大阪府	2	3		3	3	11
	宮城県	1				3	4		兵庫県	1		3	3		7
	秋田県						0		奈良県	1	3				4
	山形県	1	3	3			7		和歌山県						0
	福島県	1	3				4		中国	鳥取県	1		3		
関東	茨城県	1	3				4	島根県							0
	栃木県						0	岡山県		1	3	3			7
	群馬県	1	3				4	広島県		2	3		3	3	11
	埼玉県	1	3	3			7	山口県		1	3				4
	千葉県	2		3	3	3	11	四国	香川県	1	3	3			7
	東京都	2	3	3		3	11		徳島県	1			3		4
	神奈川県	1		3	3		7		愛媛県	2	3	3		3	11
	山梨県						0		高知県						0
北信越	新潟県						0	九州	福岡県	2	3	3	3	3	14
	長野県	1	3	3			7		長崎県	1	3				4
	富山県	2	3	3	3		11		熊本県	1	3				4
	石川県						0		大分県	1		3		3	7
	福井県	1		3		3	7		宮崎県						0
東海	静岡県	1		3			4		鹿児島県	1		3	3		7
	愛知県	1	3		3		7		沖縄県						0
	三重県	1		3			4		開催県	佐賀県	2	3	3	3	3
	岐阜県	1	3			3	7	参加総数		48	72	72	42	42	276

参加選手一覧（監督・選手）

都道府県	監督	成年男子選手	成年女子選手	少年男子選手	少年女子選手
北海道	高橋 伸章 金山 和廣	蓬田 昌伸 高橋 孝輔 松山 解	松嶋 絹花 中川 彩名 加藤 桜良	大隅 凱 中村 暁至 角藤 喜音	齋藤 千奈美 齊藤 胡果 佐藤 陽晴
青森県	五戸 豊美 酒田 和彦	白戸 渉 横山 俊 沼尾 大輝	畑山 郁子 小笠原 瞳 増田 心結	阿部 由暉 神山 輝 小池 光洋	福士 ちひろ 阿保 ナナ 山田 凜音
岩手県	角 清一		吉田 光里 川渕 真弓 小澤 楓夏	佐々木 粹 成田 勇吹 佐々木 陽葵	
宮城県	奈須野 明宏				関口 結唯 千葉 優花 相澤 結桜
山形県	野崎 剛	照井 翔太 松永 旺大 佐藤 凜太郎	岸塚 美樹 星野 爽来 大山 凜子		
福島県	上田 訓久	佐藤 尚樹 矢吹 純平 小野 徳章			
茨城県	長谷川 貴典	飛田 和真 岩崎 博旬 谷田部 敦也			
群馬県	新木 育雄	大塚 謙史 中村 凜玖 森田 伊心			
埼玉県	小田 征志	桑江 良斗 藤井 望 加藤 永遠	河本 あすか 徳永 祐未 中島 梨々香		
千葉県	勝 啓雄 原 聡美		佐藤 春菜 吉留 光咲 長原 智夏	関口 滉都 チャン プンダン 倉田 遼平	相川 乃羽 米井 瑞希 野上 菜那
東京都	齊藤 未央 佐富 久美	平林 真知 小林 司博 山本 博	西岡 尚美 塚本 美冴 坂本 友希		五関 咲子 中田 志穂 内山 心菜
神奈川県	小城 碧		柴野比 清美 木村 佳央 谷本 夏子	武内 俊秀 浦田 唯 渡邊 光希	
長野県	村上 正之	柳橋 克哉 石間 貴大 丸山 貴之	小木曾 結菜 藤森 夢華 宮原 明日香		

参加選手一覧（監督・選手）

都道府県	監督	成年男子選手	成年女子選手	少年男子選手	少年女子選手
富山県	上田 哲治 徳本 忠義	八幡 遥真 澤田 桃太 徳本 汰知	道添 彩芽 魚津 知里 室谷 悠	道添 光輝 橘 鼓太朗 白川 仁	
福井県	津田 勇志		久原 千夏 西嶋 詩緒里 真柄 結衣		ソアレス アイラ 帰山 美波 谷口 佳愛
静岡県	樋口 弘恵		杉本 智美 山内 梓 渡邊 麻央		
愛知県	新海 彩	武藤 弘樹 戸松 大輔 舟橋 悠矢		富田 優明 柴田 大輔 山本 雄大	
三重県	久野 圭太		眞弓 怜奈 吉田 桜 北村 瑞貴		
岐阜県	鷺見 益男	斉藤 史弥 澤田 つくし 阪尾 尚優汰			大井 梨世 奥村 萌加 赤塚 紘子
滋賀県	中井 貴久 仲田 善裕	古谷 溪汰 山本 雅也 杉本 翔太	原田 愛実 勝見 麗 塩見 茉央		吉田 結希乃 長谷川 綾音 佐々木 心音
京都府	永井 朝子		山本 勇気 竹中 愛恵 安久 詩乃		
大阪府	山本 和樹 守屋 龍一	古川 高晴 杉山 獅暁 道圓 英隆		富吉 優心 田中 楓峨 高井 志道	今井 希海 胡田 心菜 徳山 晃以
兵庫県	冠野 仁志		波部 日葵 上原 瑠果 北口 輝	谷 恭輔 天川 翔太郎 茶畑 颯土	
奈良県	笹尾 茂寿	吉田 悠人 藪田 真士 大隅 一樹			
鳥取県	山根 俊一		平 美香 樋口 ころろ 山本 志織		
岡山県	駒場 利生	中西 絢哉 大泉 龍晴 林田 凱斗	林 若奈 奥田 梨琴 入江 優		

参加選手一覧（監督・選手）

都道府県	監督	成年男子選手	成年女子選手	少年男子選手	少年女子選手
広島県	戸田 敦大 三木 典子	河田 悠希 青島 鉄也 伊藤 魁晟		肥後 芳希 沖野 直晴 大河 駿仁	末重 花華 毛利 愛奈 中田 心
山口県	妹尾 克己	杉原 大飛 嘉藤 飛翔 佐々木 歩			
香川県	藤本 修平	六車 大輝 佐藤 朱史 鶴川 祥行	吉峰 さやか 高木 優花 平田 渚々美		
徳島県	野田 翼			西山 空良 水口 慶一 櫛渕 悠芽	
愛媛県	長谷川 明夫 山川 厚	角田 鉄平 片上 楓也 長谷川 廉	勝本 由奈 鈴木 さくら 薦田 みゆ		黒田 彩夏 松下 朋那未 小野 心愛
福岡県	義経 絵里 白石 拓麻	宮下 昌大 興野 拓夢 木村 優斗	野田 紗月 安永 さくら 岩崎 瑞季	高田 顕照 大塚 音弥 佐々野 佑弥	古庄 千陽子 古庄 日和子 徳嶽 和穂
佐賀県	打越 大輔 末武 寛基	大坪 佑輔 川崎 陽太 光石 拓未	浅岡 知穂 宇都宮 さえ 宮原 唯希	山口 天馬 野木 寛和 松井 勘輔	奥園 桃華 酒井 悠里 鶴 由紀乃
長崎県	前田 貴史	白丸 凌太郎 酒井 孝大 前川 祥多郎			
熊本県	巢山 佑輝	宮田 楽都 深水 和良 坂本 隆輝			
大分県	荷宮 利孝		園田 稚 朝久野 奈波 渡邊 芽吹		石井 美羽 小野 翔音 澤田 ころろ
鹿児島県	米倉 雅		大田 楓子 泉 華蓮 寺田 晴香	中袴田 羚 中袴田 遊 有村 蒼弥	

立ち順一覧表

クオリフィケーションラウンド

10月5日

種別	成年女子																							
的番	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
A立	山形			福井			埼玉			富山			香川			千葉			大分			長野		
B立	岩手			佐賀			鳥取			京都			青森			鹿児島			静岡			北海道		
C立	三重			滋賀			愛媛			兵庫			東京			岡山			福岡			神奈川		

クオリフィケーションラウンド

10月5日

種別	少年女子														
的番	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
A立	岐阜			大阪			北海道			青森			千葉		
B立	大分			愛媛			福井			佐賀					
C立	広島			宮城			滋賀			東京			福岡		

クオリフィケーションラウンド

10月5日

種別	成年男子																							
的番	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
A立	山形			北海道			岐阜			長野			山口			愛媛			広島			岡山		
B立	佐賀			福島			青森			熊本			福岡			香川			愛知			群馬		
C立	富山			茨城			東京			滋賀			長崎			埼玉			奈良			大阪		

クオリフィケーションラウンド

10月5日

種別	少年男子														
的番	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
A立	佐賀						千葉			青森			福岡		
B立	岩手			兵庫			鹿児島			愛知			神奈川		
C立	北海道			富山			徳島			大阪			広島		

成年女子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
北海道	22-B	22	マツシマキヌカ 松嶋 絹花 帯広市役所					()
	23-B	23	ナカガワアキナ 中川 彩名 同志社大学					
	24-B	24	カトウサクラ 加藤 桜良 北海道大学					
青森県	13-B	13	ハタヤマイクコ 畑山 郁子 十和田市立東中学校(職)					()
	14-B	14	オガサワラヒトミ 小笠原 瞳 第一生命保険三沢営業オフィス					
	15-B	15	マスタミウ 増田 心結 北海道どうぶつ医療専門学校					
岩手県	1-B	1	ヨシダヒカリ 吉田 光里 近畿大学					()
	2-B	2	カワブチマユミ 川渕 真弓 K.M.Lアカデミーアーチェリークラブ岩手					
	3-B	3	オザワフウカ 小澤 楓夏 近畿大学					
山形県	1-A	1	キシヅカミキ 岸塚 美樹 苫小牧アーチェリー協会					()
	2-A	2	ホシノソラ 星野 爽来 近畿大学					
	3-A	3	オオヤマリンコ 大山 凜子 東京国際大学					
埼玉県	7-A	7	コウモトアスカ 河本 あすか 自衛隊体育学校					()
	8-A	8	トクナガユミ 徳永 祐未 立教大学					
	9-A	9	ナカジマリリカ 中島 梨々香 明治大学					
千葉県	16-A	16	サトウハルナ 佐藤 春菜 立教大学					()
	17-A	17	ヨシドメミサキ 吉留 光咲 千葉県警察					
	18-A	18	ナガハラチナツ 長原 智夏 日本大学					

成年女子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
東京都	13-C	13	西岡 尚美 東京通信病院					()
	14-C	14	塚本 美冴 早稲田大学					
	15-C	15	坂本 友希 工藤建設株式会社					
神奈川県	22-C	22	栄野比 清美 全日本空輸株式会社					()
	23-C	23	木村 佳央 国際動物専門学校					
	24-C	24	谷本 夏子 立教大学					
長野県	22-A	22	小木 曾 結菜 日本体育大学					()
	23-A	23	藤森 夢華 長野大学					
	24-A	24	宮原 明日香 ふじみこどもACプロジェクト					
富山県	10-A	10	道添 彩芽 近畿大学					()
	11-A	11	魚津 知里 黒部市立中央小学校(教)					
	12-A	12	室谷 悠 (株)スギノマシン					
福井県	4-A	4	久原 千夏 福井信用金庫					()
	5-A	5	西嶋 詩緒里 日本体育大学					
	6-A	6	真柄 結衣 近畿大学					
静岡県	19-B	19	杉本 智美 (株)ミキハウス					()
	20-B	20	山内 梓 近畿大学(職)					
	21-B	21	渡邊 麻央 日本体育大学					

成年女子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
三重県	1-C	1	マユミ レナ 眞弓 怜奈 株式会社デンソートリム					()
	2-C	2	ヨシダ サクラ 吉田 桜 東京国際大学					
	3-C	3	キタムラ ミズキ 北村 瑞貴 日本体育大学					
滋賀県	4-C	4	ハラダ マナミ 原田 愛実 龍谷大学					()
	5-C	5	カツミ レイ 勝見 麗 日本体育大学					
	6-C	6	シオミ マオ 塩見 茉央 甲南大学					
京都府	10-B	10	ヤマモト ユウキ 山本 勇氣 株式会社堀場製作所					()
	11-B	11	タケナカ マナエ 竹中 愛恵 同志社大学					
	12-B	12	アグウ タノ 安久 詩乃 株式会社堀場製作所					
兵庫県	10-C	10	ハベ ヒマリ 波部 日葵 関西大学					()
	11-C	11	ウエハラ ルカ 上原 瑠果 日本特殊陶業株式会社					
	12-C	12	キタグチ ヒカリ 北口 輝 兵庫県アーチェリー連盟					
鳥取県	7-B	7	タイラ ミカ 平 美香 鳥取県地域社会振興部スポーツ振興局スポーツ課					()
	8-B	8	ヒグチ ココロ 樋口 こころ 近畿大学					
	9-B	9	ヤマモト シオリ 山本 志織 (株)スポーツフィールド					
岡山県	16-C	16	ハヤシワカナ 林 若奈 同志社大学					()
	17-C	17	オクダ リコ 奥田 梨琴 吉備国際大学					
	18-C	18	イリエ ユウ 入江 優 一般財団法人淳風会 淳風会健康管理センター					

成年女子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
香川 県	13-A	13	ヨシミネ サヤカ 吉峰 さやか 西尾 レントオール					()
	14-A	14	タカギ ユウカ 高木 優花 香川県アーチェリー協会					
	15-A	15	ヒラタ ナナミ 平田 渚々美 甲南女子大学					
愛媛 県	7-C	7	カツモト ユイナ 勝本 由奈 日本体育大学					()
	8-C	8	スズキ サクラ 鈴木 さくら 同志社大学					
	9-C	9	コモダ ミユ 薦田 みゆ 長崎国際大学					
福岡 県	19-C	19	ノダ サツキ 野田 紗月 株式会社ミキハウス					()
	20-C	20	ヤスナガ サクラ 安永 さくら 近畿大学					
	21-C	21	イワサキ ミズキ 岩崎 瑞季 熊本大学					
佐賀 県	4-B	4	アサオカ チホ 浅岡 知穂 Team SAGA SSP					()
	5-B	5	ウツノ ミヤサエ 宇都宮 さえ 佐賀県アーチェリー協会					
	6-B	6	ミヤハラ ユキ 宮原 唯希 社会福祉法人佐賀整肢学園 からつ医療福祉センター					
大分 県	19-A	19	ソノダ ワカ 園田 稚 早稲田大学					()
	20-A	20	アサクノ ナナミ 朝久野 奈波 近畿大学					
	21-A	21	ワタナベ メブキ 渡邊 芽吹 近畿大学					
鹿児島 県	16-B	16	オオタ フウコ 大田 楓子 近畿大学					()
	17-B	17	イズミ カレン 泉 華蓮 近畿大学					
	18-B	18	テラダ ハルカ 寺田 晴香 セイカ食品株式会社					

少年女子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
北海道	31-A	31	齋藤 千奈美 市立札幌啓北商業高等学校					()
	32-A	32	齊藤 胡果 帯広市立帯広第八中学校					
	33-A	33	佐藤 陽晴 北海道旭川北高等学校					
青森県	34-A	34	福士 ちひろ 青森山田高等学校					()
	35-A	35	阿保 ナナ 青森山田高等学校					
	36-A	36	山田 凜音 青森山田高等学校					
宮城県	28-C	28	関口 結唯 仙台二華高等学校					()
	29-C	29	千葉 優花 東陵高等学校					
	30-C	30	相澤 結桜 仙台市立鶴谷中学校					
千葉県	37-A	37	相川 乃羽 千葉英和高等学校					()
	38-A	38	米井 瑞希 千葉英和高等学校					
	39-A	39	野上 菜那 千葉英和高等学校					
東京都	34-C	34	五関 暁子 東京都立足立新田高等学校					()
	35-C	35	中田 志穂 東京都立松が谷高等学校					
	36-C	36	内山 心菜 山脇学園高等学校					
福井県	31-B	31	ソアレス アイラ 福井県立鯖江高等学校					()
	32-B	32	帰山 美波 福井県立鯖江高等学校					
	33-B	33	谷口 佳愛 福井市明道中学校					

少年女子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
岐 阜 県	25-A	25	オ オ イ リ ヨ 大井 梨世 東京都立足立新田高等学校					()
	26-A	26	オ ク ム ラ モ エ カ 奥村 萌加 聖マリア女学院高等学校					
	27-A	27	ア カ ツ カ ヒ ロ コ 赤塚 紘子 聖マリア女学院高等学校					
滋 賀 県	31-C	31	ヨ シ ダ ユ キ ノ 吉田 結希乃 滋賀県立大津商業高等学校					()
	32-C	32	ハ セ ガ ワ ア ヤ ネ 長谷川 綾音 滋賀県立草津東高等学校					
	33-C	33	サ サ キ コ コ ネ 佐々木 心音 滋賀県立北大津高等学校					
大 阪 府	28-A	28	イ マ イ キ ア 今井 希海 近畿大学附属高等学校					()
	29-A	29	エ ビ ス ダ コ コ ナ 胡田 心菜 関西大倉高等学校					
	30-A	30	ト ク ヤ マ ア イ 徳山 晃以 近畿大学附属高等学校					
広 島 県	25-C	25	ス エ シ ゲ ハ ル カ 末重 花華 広島県立可部高等学校					()
	26-C	26	モ ウ リ ア イ ナ 毛利 愛奈 広島県立海田高等学校					
	27-C	27	ナ カ タ コ コ ロ 中田 心 広島県立可部高等学校					
愛 媛 県	28-B	28	ク ロ ダ ア ヤ カ 黒田 彩夏 松山東雲高等学校					()
	29-B	29	マ ツ シ タ ホ ナ ミ 松下 朋那未 松山東雲高等学校					
	30-B	30	オ ノ コ コ ア 小野 心愛 松山東雲高等学校					
福 岡 県	37-C	37	フル シ ョ ウ チ ヨ コ 古庄 千陽子 東京都立足立新田高等学校					()
	38-C	38	フル シ ョ ウ ヒ ワ コ 古庄 日和子 東京都立足立新田高等学校					
	39-C	39	ト ク タ ケ カ ズ ホ 徳嶽 和穂 福岡県立筑紫中央高等学校					

少年女子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
佐賀県	34-B	34	オクソノモモカ 奥園 桃華 佐賀県立唐津東高等学校					()
	35-B	35	サカイユリ 酒井 悠里 佐賀県立高志館高等学校					
	36-B	36	ツルユキノ 鶴 由紀乃 佐賀県立唐津南高等学校					
大分県	25-B	25	イシイミウ 石井 美羽 大分東明高等学校					()
	26-B	26	オノシオン 小野 翔音 大分県立別府翔青高等学校					
	27-B	27	サワダココロ 澤田 ころろ 大分東明高等学校					

成年男子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
北海道	4-A	4	ヨモギダ マサノブ 蓬田 昌伸 マフテック(株)					()
	5-A	5	タカハシ コウスケ 高橋 孝輔 陸上自衛隊真駒内駐屯地					
	6-A	6	マツヤマ カイ 松山 解 北見工業大学					
青森県	7-B	7	シラト ワタル 白戸 渉 株式会社ユアテック					()
	8-B	8	ヨコヤマ スグル 横山 俊 青森県立青森中央高等学校(教)					
	9-B	9	ヌマオ ダイキ 沼尾 大輝 東京国際大学					
山形県	1-A	1	テルイ ショウタ 照井 翔太 東洋技検株式会社					()
	2-A	2	マツナガ オウヒロ 松永 旺大 東北学院大学					
	3-A	3	サトウ リンタロウ 佐藤 凜太郎 日本体育大学					
福島県	4-B	4	サトウ ナオキ 佐藤 尚樹 コマツカスタマーサポート株式会社					()
	5-B	5	ヤブキ ジュンペイ 矢吹 純平 東開工業株式会社					
	6-B	6	オノ ノリアキ 小野 徳章 小野果樹園					
茨城県	4-C	4	トビタ カズマ 飛田 和真 慶應義塾大学大学院					()
	5-C	5	イワサキ ヒロミツ 岩崎 博旬 株式会社岩崎物産					
	6-C	6	ヤタベ アツヤ 谷田部 敦也 立教大学					
群馬県	22-B	22	オオツカ ケンジ 大塚 謙史 (株)拓新					()
	23-B	23	ナカム ラリク 中村 凜玖 拓殖大学					
	24-B	24	モリタ イシン 森田 伊心 サントリービレッジソリューション株式会社					

成年男子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
埼玉県	16-C	16	クワエヨシト 桑江良斗 自衛隊体育学校					()
	17-C	17	フジイノゾミ 藤井望 自衛隊体育学校					
	18-C	18	カトウトワ 加藤永遠 近畿大学					
東京都	7-C	7	ヒラバヤシマサト 平林真知 近畿大学					()
	8-C	8	コバヤシツカサ 小林司 株式会社ハードオフコーポレーション					
	9-C	9	ヤマモトヒロシ 山本博 日本体育大学(教)					
長野県	10-A	10	ヤナギバシカツヤ 柳橋克哉 近畿大学					()
	11-A	11	イシマタカヒロ 石間貴大 株式会社黒澤組					
	12-A	12	マルヤマタカユキ 丸山貴之 フランスベッド株式会社					
富山県	1-C	1	ヤハタハルマ 八幡遥真 近畿大学					()
	2-C	2	サワダモモタ 澤田桃太 愛知産業大学					
	3-C	3	トクモトタイチ 徳本汰知 (株)スギノマシン					
愛知県	19-B	19	ムトウヒロキ 武藤弘樹 トヨタ自動車株式会社					()
	20-B	20	トマツダイスケ 戸松大輔 日本体育大学大学院					
	21-B	21	フナハシユウヤ 舟橋悠矢 近畿大学					
岐阜県	7-A	7	サイトウフミヤ 斉藤史弥 日本体育大学					()
	8-A	8	サワダツクシ 澤田つくし 日本体育大学					
	9-A	9	サカオナユタ 阪尾尚優汰 日本体育大学					

成年男子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
滋賀県	10-C	10	フルタニケイタ 古谷 溪汰 株式会社クラブハリエ					
	11-C	11	ヤマモトマサヤ 山本 雅也 株式会社イシダ					
	12-C	12	スギモトシヨウタ 杉本 翔太 大杉株式会社					()
大阪府	22-C	22	フルカワタカハル 古川 高晴 近畿大学(職)					
	23-C	23	スギヤマライオ 杉山 獅暁 近畿大学					
	24-C	24	ドウエンヒデタカ 道圓 英隆 関西学院大学					()
奈良県	19-C	19	ヨシダユウト 吉田 悠人 同志社大学					
	20-C	20	ヤブタマサシ 藪田 真士 同志社大学					
	21-C	21	オオスミカズキ 大隅 一樹 森永乳業株式会社					()
岡山県	22-A	22	ナカニシジュンヤ 中西 絢哉 シーアール物流株式会社					
	23-A	23	オオイズミリュウセイ 大泉 龍晴 シーアール物流株式会社					
	24-A	24	ハヤシダガイト 林田 凱斗 (株)プライマリーリハビリ特化型 デイサービスカラダラボ備前					()
広島県	19-A	19	カワタユウキ 河田 悠希 株式会社エディオ					
	20-A	20	アオシマテツヤ 青島 鉄也 株式会社エディオ					
	21-A	21	イトウカイセイ 伊藤 魁晟 日本体育大学					()
山口県	13-A	13	スギハラダイト 杉原 大飛 カワノ工業株式会社					
	14-A	14	カトウツバサ 嘉藤 飛翔 吉川林産興業株式会社					
	15-A	15	ササキアユム 佐々木 歩 近畿大学					()

成年男子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
香川県	16-B	16	ムグルマダイキ 六車大輝 株式会社ヤエス					()
	17-B	17	サトウシュウジ 佐藤朱史 京都産業大学					
	18-B	18	ウガワヨシユキ 鵜川祥行 関西学院大学					
愛媛県	16-A	16	スミダテツペイ 角田鉄平 浅川造船					()
	17-A	17	カタカミフウヤ 片上楓也 B E M A C					
	18-A	18	ハセガワレン 長谷川廉 愛媛県競技力向上対策本部					
福岡県	13-B	13	ミヤシタマサヒロ 宮下昌大 近畿大学					()
	14-B	14	コウノタクム 興野拓夢 近畿大学					
	15-B	15	キムラマサト 木村優斗 東京国際大学					
佐賀県	1-B	1	オオツボユウスケ 大坪佑輔 近畿大学					()
	2-B	2	カワサキヨウタ 川崎陽太 近畿大学					
	3-B	3	ミツイシタクミ 光石拓未 近畿大学					
長崎県	13-C	13	シロマルリョウタロウ 白丸凌太郎 近畿大学					()
	14-C	14	サカイコウダイ 酒井孝大 井村商事(株)					
	15-C	15	マエカワショウタロウ 前川祥多郎 近畿大学					
熊本県	10-B	10	ミヤタガクト 宮田楽都 近畿大学					()
	11-B	11	フカミカズヨシ 深水和良 ジャパンマリンユナイテッド(株)					
	12-B	12	サカモトリュウキ 坂本隆輝 (一財)熊本県スポーツ振興事業団					

少年男子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
北海道	25-C	25	オオスミガイ 大隅 凱 市立札幌啓北商業高等学校					
	26-C	26	ナカムラサトシ 中村 暁至 北海道帯広三条高等学校					
	27-C	27	カクフジヨシト 角藤 喜音 北海道帯広工業高等学校					
青森県	34-A	34	アベユウキ 阿部 由暉 青森山田高等学校					
	35-A	35	カミヤマヒカル 神山 輝 青森山田高等学校					
	36-A	36	コイケコウヨウ 小池 光洋 青森山田高等学校					
岩手県	25-B	25	ササキイキ 佐々木 粹 岩手県立盛岡工業高等学校					
	26-B	26	ナリタイブキ 成田 勇吹 岩手県立盛岡工業高等学校					
	27-B	27	ササキハルキ 佐々木 陽葵 岩手県立盛岡工業高等学校					
千葉県	31-A	31	セキグチヒロト 関口 滉都 千葉黎明高等学校					
	32-A	32	チャンブレンダン チャンブレンダン 千葉英和高等学校					
	33-A	33	クラタリョウヘイ 倉田 遼平 千葉黎明高等学校					
神奈川県	37-B	37	タケウチトシヒデ 武内 俊秀 星槎国際高等学校湘南					
	38-B	38	ウラタユイ 浦田 唯 横須賀総合高等学校					
	39-B	39	ワタナベコウキ 渡邊 光希 星槎国際高等学校湘南					
富山県	28-C	28	ミチゾエコウキ 道添 光輝 桜井高等学校					
	29-C	29	タチバナコタロウ 橘 鼓太朗 入善高等学校					
	30-C	30	シラカワジン 白川 仁 桜井高等学校					

少年男子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
愛知県	34-B	34	トミタ マサアキ 富田 優明 愛知産業大学三河高等学校					()
	35-B	35	シバタ ダイスケ 柴田 大輔 愛知県立旭丘高等学校					
	36-B	36	ヤマモト ユウダイ 山本 雄大 愛知産業大学三河高等学校					
大阪府	34-C	34	トミヨ シュウア 富吉 優心 近畿大学附属高等学校					()
	35-C	35	タナカ フウガ 田中 楓峨 近畿大学附属高等学校					
	36-C	36	タカイ シドウ 高井 志道 近畿大学附属高等学校					
兵庫県	28-B	28	タニ キョウスケ 谷 恭輔 甲南高等学校					()
	29-B	29	アマカワ ショウタロウ 天川 翔太郎 滝川高校					
	30-B	30	チャバタ ハヤト 茶畑 颯土 甲南高等学校					
広島県	37-C	37	ヒゴ ヨシキ 肥後 芳希 広島県立佐伯高等学校					()
	38-C	38	オキノ ナオハル 沖野 直晴 広島県立佐伯高等学校					
	39-C	39	オオカワ ハヤト 大河 駿仁 廿日市市立佐伯中学校					
徳島県	31-C	31	ニシヤマ ソラ 西山 空良 徳島科学技術高等学校					()
	32-C	32	ミズグチ ケイイチ 水口 慶一 徳島科学技術高等学校					
	33-C	33	クシブチ ユウガ 榎渕 悠芽 徳島科学技術高等学校					
福岡県	37-A	37	タカタ ケンショウ 高田 顕照 福岡県立柏陵高等学校					()
	38-A	38	オオツカ オトヤ 大塚 音弥 北九州市立永犬丸中学校					
	39-A	39	ササノ ユウヤ 佐々野 佑弥 福岡県立柏陵高等学校					

少年男子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
佐賀県	25-A	25	ヤマグチ テンマ 山口 天馬 佐賀県立高志館高等学校					()
	26-A	26	ノギ カシナ 野木 寛和 佐賀県立高志館高等学校					
	27-A	27	マツイ カシスゲ 松井 勘輔 佐賀県立唐津東高等学校					
鹿児島県	31-B	31	ナカハカマダ レイ 中袴田 羚 鹿児島県立串木野高等学校					()
	32-B	32	ナカハカマダ ユウ 中袴田 遊 いちき串木野市立串木野中学校					
	33-B	33	アリムラ ソウヤ 有村 蒼弥 鹿児島市立鹿児島玉龍中学校					

イリミネーション～ファイナルラウンド組合せ表

【成年女子】

〔団体の部〕

クオリフィケーションラウンド順位	10月6日（日）			10月7日（月）
	1/8イリミネーション	1/4ファイナル	セミファイナル	ゴールドメダルマッチ
1 ()	1位	①		<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 20px;">①</div> <div style="margin-bottom: 20px;">②</div> <div style="margin-bottom: 20px;">③</div> <div style="margin-bottom: 20px;">④</div> <div style="margin-bottom: 20px;">⑤</div> <div style="margin-bottom: 20px;">⑥</div> <div style="margin-bottom: 20px;">⑦</div> <div style="margin-bottom: 20px;">⑧</div> <div style="margin-bottom: 20px;">⑨</div> <div style="margin-bottom: 20px;">⑩</div> <div style="margin-bottom: 20px;">⑪</div> <div style="margin-bottom: 20px;">⑫</div> <div style="margin-bottom: 20px;">⑬</div> <div style="margin-bottom: 20px;">⑭</div> <div style="margin-bottom: 20px;">⑮</div> <div style="margin-bottom: 20px;">⑯</div> </div>
2 ()	16位	②	⑨	
3 ()	9位	③	⑩	
4 ()	8位	④	⑩	
5 ()	5位	⑤		
6 ()	12位	⑥	⑪	
7 ()	13位	⑦	⑫	
8 ()	4位	⑧		
9 ()	3位	⑨		
10 ()	14位	⑩	⑬	
11 ()	11位	⑪	⑭	
12 ()	6位	⑫		
13 ()	7位	⑬		
14 ()	10位	⑭	⑮	
15 ()	15位	⑮	⑯	
16 ()	2位	⑯		

ブロンズメダルマッチ

セミファイナル敗退チーム — ① — ブロンズメダル

セミファイナル敗退チーム — ② — ブロンズメダル

※ ①～⑯は的番号を示す。

【成年男子】

〔団体の部〕

クオリフィケーションラウンド順位	10月6日（日）			10月7日（月）
	1/8リミネーション	1/4ファイナル	セミファイナル	ゴールドメダルマッチ
1 (1位)	①			① ② — ゴールドメダル ② — ブロンズメダルマッチ ① — ブロンズメダル ② — ブロンズメダル
2 (16位)	②	⑨		
3 (9位)	③	⑩	⑨	
4 (8位)	④			
5 (5位)	⑤			
6 (12位)	⑥	⑪	⑩	
7 (13位)	⑦	⑫		
8 (4位)	⑧			
9 (3位)	⑨			
10 (14位)	⑩	⑬		
11 (11位)	⑪	⑭	⑬	
12 (6位)	⑫			
13 (7位)	⑬			
14 (10位)	⑭	⑮	⑭	
15 (15位)	⑮	⑯		
16 (2位)	⑯			

※ ①～⑯は的番号を示す。

ファイナルラウンド組合せ表

【少年女子】

〔団体の部〕

クオリフィケーションラウンド順位	10月6日（日）		10月7日（月）
	1/4ファイナル	セミアイナル	ゴールドメダルマッチ
1 (1 位)	⑨	⑨	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 40%; border-left: 1px dashed black; border-right: 1px dashed black; height: 100%;"></div> <div style="width: 5%; text-align: center;"> ① ② </div> <div style="width: 55%; text-align: center;"> ゴールドメダル ブロンズメダルマッチ セミアイナル敗退チーム — ① セミアイナル敗退チーム — ② — ブロンズメダル </div> </div>
2 (8 位)	⑩		
3 (5 位)	⑪	⑩	
4 (4 位)	⑫		
5 (3 位)	⑬	⑬	
6 (6 位)	⑭		
7 (7 位)	⑮	⑭	
8 (2 位)	⑯		

※ ①～⑯は的番号を示す。

【少年男子】

〔団体の部〕

クオリフィケーションラウンド順位	10月6日（日）		10月7日（月）
	1/4ファイナル	セミファイナル	ゴールドメダルマッチ
1 (1 位)	⑨	⑨	① — ゴールドメダル ② ブロンズメダルマッチ セミファイナル敗退チーム — ① — ブロンズメダル セミファイナル敗退チーム — ② —
2 (8 位)	⑩		
3 (5 位)	⑪	⑩	
4 (4 位)	⑫		
5 (3 位)	⑬	⑬	
6 (6 位)	⑭		
7 (7 位)	⑮	⑭	
8 (2 位)	⑯		

※ ①～⑯は的番号を示す。

第78回国民スポーツ大会総合成績一覧表

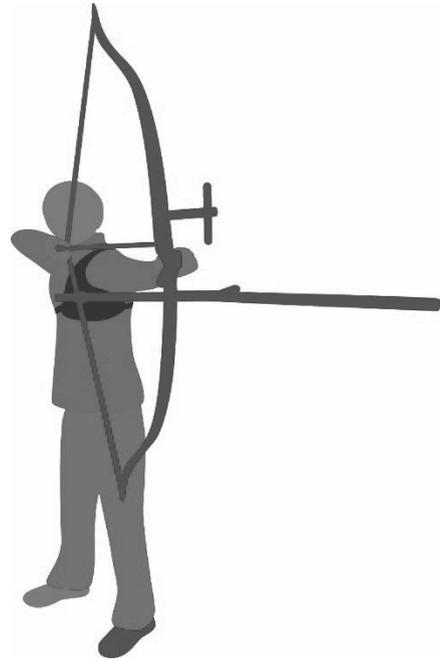
都道府県名		アーチェリー競技													
		男女総合成績（天皇杯得点）								女子総合成績（皇后杯得点）					
		順位	得点合計	競技得点	参加得点	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	順位	得点合計	競技得点	参加得点	成年女子	少年女子
1	北海道														
2	青森														
3	岩手														
4	宮城														
5	秋田														
6	山形														
7	福島														
8	茨城														
9	栃木														
10	群馬														
11	埼玉														
12	千葉														
13	東京														
14	神奈川県														
15	山梨														
16	新潟														
17	長野														
18	富山														
19	石川														
20	福井														
21	静岡														
22	愛知														
23	三重														
24	岐阜														
25	滋賀														
26	京都														
27	大阪														
28	兵庫														
29	奈良														
30	和歌山														
31	鳥取														
32	島根														
33	岡山														
34	広島														
35	山口														
36	香川														
37	徳島														
38	愛媛														
39	高知														
40	福岡														
41	佐賀														
42	長崎														
43	熊本														
44	大分														
45	宮崎														
46	鹿児島														
47	沖縄														

アーチェリー競技について

歴史・・・始まりは狩猟

弓は旧石器時代、狩猟の道具として発達したものが起こりといわれています。これらは、南東スペインなどに残っている洞窟壁画から推測されます。

弓を大別すると、地中海型（アーチェリー）、蒙古型（和弓）、及びピンチ型の3種類に分類されます。地中海で発達したアーチェリーは、武器として古代エジプトや中世イギリスで普及しましたが、鉄砲の出現とともに衰退していきました。その後、スポーツとしてイギリス王室を中心に復活しました。ヘンリー8世は大のアーチェリー愛好家だったといわれ、ロビン・フッドのお話もこの時代に作られました。



ターゲット（標的）競技

競技は、クォリフィケーションラウンドとイリミネーションラウンド及びファイナルラウンド（オリンピックラウンド）からなります。

（1）クォリフィケーションラウンド

男女とも70mの距離を36射、2回（72射）射て順位を競います。

個人戦は、このラウンドで順位が決まります。団体戦は、3人1組で、このラウンドでの3人の合計点の上位チーム（少年は8チーム、成年は16チーム）が、翌日のイリミネーションラウンドに進みます。

（2）イリミネーションラウンド

男女とも70mの距離で1セット2分6射（2射×3名）の4セットマッチ（5ポイント先取勝抜き）によるトーナメント方式で行います。

（3）ファイナルラウンド

男女とも70mの距離で1セット2分6射（2射×3名）4セットマッチ（5ポイント先取勝利）のゴールドメダルマッチとブロンズメダルマッチを行います。

用具

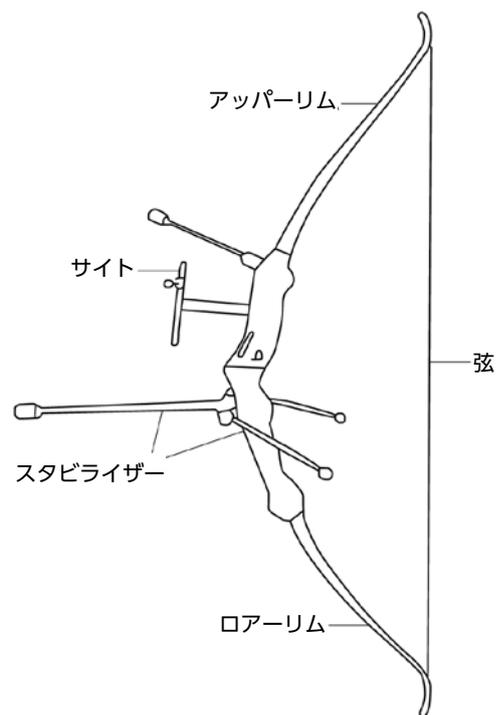
(弓)

アーチェリーの弓は、現在薄目の細長いカーボンファイバー、グラスファイバーなどを強い接着剤で張り合わせて作られており、張力や曲げに強く、反発力にも優れています。多くの選手は、ハンドル、アッパーリム及びロアーリムの3つに分解することができるテイクダウンボウを使用しています。

弓の威力は相当強く、時速 230km ぐらいで、フライト競技では 800m 以上も飛んだ記録があります。ターゲット競技に使用する弓はフライパンを突き抜けてしまう程です。

また、弓にはサイト、スタビライザーなどの補助的な装置をつけることができます。

サイト（照準器）は、ねらいを定めるためのもので、スタビライザーは、矢を射るときの衝撃を吸収するためのものです。



(弦)

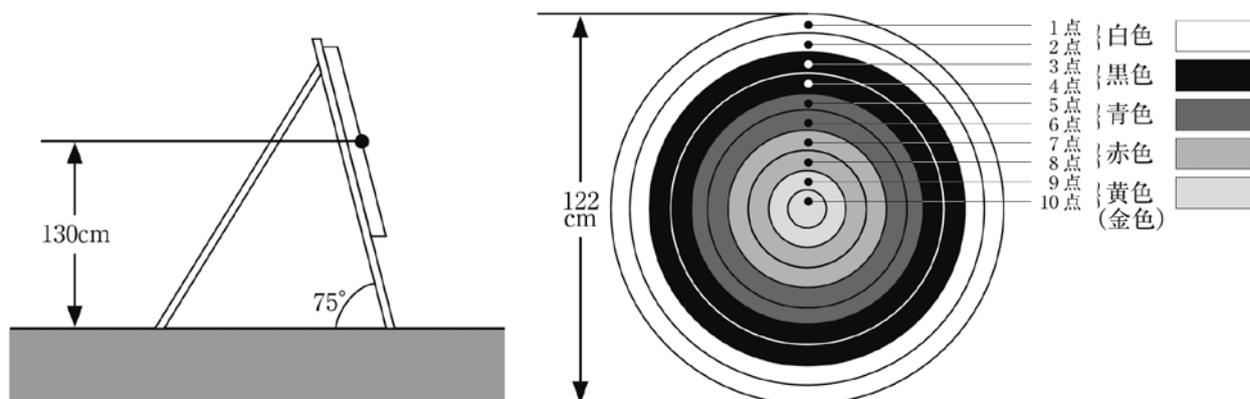
軽くて強い化学繊維を 10～20 本縀り合わせたものを使います。

(矢)

カーボンパイプのシャフトに樹脂系の羽をつけたものを使います。

(標的)

ターゲット（標的）は、直径 122cm の大きさに 5 色にくぎられており、10 段階に点数が分けられています。



過去の成績一覧

第35回		第1位 静岡県		第1位 静岡県		昭和55年		
男女総合		第2位 神奈川県		女子総合		第2位 東京都		
栃の葉国体		第3位 東京都		第3位 青森県		栃木県馬頭町		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	静岡県	1953	伊藤 徳保 658 亀井 孝 650 A 大河 照福 645	東京都	草野 昌治 安原 孝史 A 吉田 一正	鳥取	A 児玉 五郎 上田 祐吉 有馬 康博
	個人	草野 昌治 (東京) 668(325・343)		吉田 正明 (愛知)		伊藤 徳保 (静岡)		
成年女子	団体	東京都	1851	岡崎 芳子 625 吉川 宣子 621 小室 光子 605	山口	岡本 英子 石津 裕子 徳田美由紀	福岡	戸崎 恵子 増井恵津子 東内 宏佳
	個人	戸崎 恵子 (福岡) 634(300・334)		岡崎 芳子 (東京)		吉川 宣子 (東京)		
少年男子	団体	神奈川県	1906	山本 博 661 白井 肇 626 足立 朋美 619	愛知	高瀬 純一 樋口 政徳 松本 靖彦	長崎	赤川 義昭 溝上 修 谷川 浩三
	個人	山本 博 (神奈川) 661(318・343)		稲角 延章 (大阪)		高瀬 純一 (愛知)		
少年女子	団体	静岡県	1776	井口 早苗 609 黒柳 桂子 597 望月久美子 570	広島	折村 智子 立川 幸美 木村 弥生	青森	関口 恵子 小山 文枝 山本 厚子
	個人	関口 恵子 (青森) 609(281・328)		井口 早苗 (静岡)		横 奈津子 (神奈川)		
第36回		第1位 静岡県		第1位 静岡県		昭和56年		
男女総合		第2位 滋賀県		女子総合		第2位 滋賀県		
びわこ国体		第3位 愛知県		第3位 山口県		滋賀県秦荘町		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	静岡県	1967	A 大河 照福 649 伊藤 徳保 645 稲川 篤郎 673	愛知	A 浜千代和男 小笠原 潔 岡村 正彦	埼玉	A 坂本善三郎 島村 一郎 磯 昌章
	個人	衣笠 敏明 (長崎) 674(330・344)		稲川 篤郎 (静岡)		松下 和幹 (和歌山)		
成年女子	団体	山口	1796	石津 裕子 628 岡本 英子 586 徳田美由紀 582	東京	野中美智子 野中志保子 岡崎 芳子	福岡	増井恵津子 戸崎 恵子 竹内 みな
	個人	石津 裕子 (山口) 628(295・333)		戸崎 恵子 (福岡)		阿部 香織 (北海道)		
少年男子	団体	鳥取	1845	隠樹 正人 607 足立 一雄 618 近藤 祥 620	大阪	稲角 延章 岐部 恭史 酒井 良直	愛知	近藤 克一 松本 靖彦 山中 広行
	個人	森田 幸治 (千葉) 638(300・338)		稲角 延章 (大阪)		斉藤 章司 (福井)		
少年女子	団体	滋賀	1775	樋口ますみ 604 前川 朗子 564 佐々木博美 607	静岡	中村 真弓 名倉 裕子 木内 延子	大阪	上村美智留 大灘三起子 有田 志保
	個人	日野 輝美 (北海道) 638(301・337)		花田みづほ (神奈川)		上村美智留 (大阪)		
第37回		第1位 大阪府		第1位 青森県・愛知県		昭和57年		
男女総合		第2位 愛知県		女子総合		第2位		
くにびき国体		第3位 東京都		第3位 広島県・山口県		島根県美保関町		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	大阪	1892	池田 達也 643 A 味波 喜通 635 久保田和哉 614	東京	原嶋 永寿 森田 雅貴 A 石原 淳伍	静岡	稲川 篤郎 亀井 孝 A 川口 喜博
	個人	松下 和幹 (和歌山) 653(316・337)		高野 昭 (新潟)		稲川 篤郎 (静岡)		
成年女子	団体	山口	1867	石津 裕子 644 岡本 英子 622 徳田美由紀 601	愛知	秋吉由美子 柴田 昌与 福井 敏子	東京	早稲田敦子 穂苅美奈子 原 一世
	個人	石津 裕子 (山口) 644(307・337)		秋吉由美子 (愛知)		柴田 昌与 (愛知)		
少年男子	団体	大阪	1819	岐部 恭史 631 岸田 勇 595 大東 直幸 593	愛知	宮地 貴裕 久保田圭三 加藤 直樹	神奈川	小岩井成夫 石川 宏道 三村 直幹
	個人	小岩井成夫 (神奈川) 633(302・331)		岐部 恭史 (大阪)		宮地 貴裕 (愛知)		
少年女子	団体	広島	1772	上森 典子 603 北 美由紀 590 折村 智子 579	大阪	平田 沙弓 磯江 光代 柴野 早苗	青森	杉山 郁子 横浜 祐子 上明戸茂子
	個人	川本ともみ (島根) 631(297・334)		上森 典子 (広島)		深田ゆきみ (愛知)		

第38回		第1位 鳥取県	第2位 群馬県	第3位 東京都・静岡県	第1位 群馬県	第2位 東京都	第3位 広島県	昭和58年
あかぎ国体		男女総合			女子総合			群馬県川場村
種別	区分	第 1 位			第 2 位		第 3 位	
成年男子	団体	鳥取	1878	A 児玉 五郎 628 木村 哲二 619 隠樹 正人 631	兵庫	A 庄司 歳記 冠野 仁志 栗栖 章	静岡	A 大河 照福 稲川 篤郎 亀井 孝
	個人	島村 一郎 (埼玉) 644(304・340)			前川 雅俊 (宮城)		冠野 仁志 (兵庫)	
成年女子	団体	東京	1848	穂苺美奈子 618 小室 光子 590 早稲田敦子 640	兵庫	伊藤 邦栄 多田 信枝 進藤紀代子	愛知	村瀬 吉美 秋吉由美子 早川 敦子
	個人	村瀬 吉美 (愛知) 650(313・337)			早稲田敦子 (東京)		伊藤 邦栄 (兵庫)	
少年男子	団体	鳥取	1903	山上 直之 648 新宮加寸馬 640 海地 浩樹 615	大阪	山内 和彦 嶋田 光典 北橋 信一	青森	桜庭 秀郎 伊藤 寿孝 棟方 光輝
	個人	河合 徳之 (静岡) 650(312・338)			山上 直之 (鳥取)		新宮加寸馬 (鳥取)	
少年女子	団体	群馬	1814	林 玲子 622 長井 元子 568 真船由美子 624	青森	杉山 郁子 上明戸成子 佐々木美保子	神奈川	古田 順子 阿知波久美 相崎 芳恵
	個人	岩波ひろみ (滋賀) 629(304・325)			杉山 郁子 (青森)		真船由美子 (群馬)	
第39回		第1位 静岡県	第2位 鳥取県	第3位 北海道	第1位 北海道	第2位 滋賀県	第3位 山口県	昭和59年
わかさ国体		男女総合			女子総合			奈良県三宅町
種別	区分	第 1 位			第 2 位		第 3 位	
成年男子	団体	神奈川	1965	A 川名 均 648 松下 和幹 672 山本 博 645	大阪	A 前田栄一郎 越谷 彰元 藤堂 博	静岡	A 大河 照福 古橋 照司 稲川 篤郎
	個人	松下 和幹 (神奈川) 672(324・348)			衣薙 敏明 (長崎)		稲川 篤郎 (静岡)	
成年女子	団体	山口	1768	石津 裕子 604 佐野 英子 595 柴原由美子 569	福岡	鈴木 幸江 吉田 裕美 浦川 記子	東京	穂苺美奈子 野中志保子 早稲田敦子
	個人	石津 裕子 (山口) 604(281・323)			佐野 英子 (山口)		野中志保子 (東京)	
少年男子	団体	鳥取	1816	海地 浩樹 621 山上 直之 594 熊澤 孝平 601	静岡	大澄 孝明 町田 卓也 杉本 幸成	和歌山	欽田 優一 井川 恵一 西岡 徹勝
	個人	棟方 光輝 (青森) 630(297・333)			海地 浩樹 (鳥取)		町田 卓也 (静岡)	
少年女子	団体	滋賀	1780	大木 豊子 604 藤本 正美 599 堀内 由紀 577	北海道	山本 和美 三浦恵利子 村川かおり	奈良	四方 晴美 吉川 美佐 西村 知子
	個人	児玉 晶子 (鳥取) 633(299・334)			大木 豊子 (滋賀)		藤本 正美 (滋賀)	
第40回		第1位 神奈川県	第2位 鳥取県	第3位 北海道・静岡県	第1位 鳥取県	第2位 福岡県	第3位 北海道	昭和60年
わかとり国体		男女総合			女子総合			鳥取県東郷町
種別	区分	第 1 位			第 2 位		第 3 位	
成年男子	団体	神奈川	1930	A 川名 均 640 松下 和幹 663 石神 泰彦 627	静岡	A 徳増 慎 古橋 照司 稲川 篤郎	東京	A 石原 淳伍 小野寺長久 森谷 稔
	個人	小野寺長久 (東京) 664(326・338)			松下 和幹 (神奈川)		稲川 篤郎 (静岡)	
成年女子	団体	福岡	1842	浦川 記子 610 近藤 貴美 635 池田 広子 597	山口	石津 裕子 小山 聡子 佐野 英子	山梨	諏訪 景子 石水 年子 大木 豊子
	個人	小山 聡子 (山口) 636(303・333)			近藤 貴美 (福岡)		石津 裕子 (山口)	
少年男子	団体	神奈川	1921	室伏優一郎 632 清水 徹也 643 井上 和宣 646	鳥取	松田 武文 駒場 利生 佐々木健二	岡山	枯木 将克 片岡 善行 大西 崇
	個人	駒場 利生 (鳥取) 646(307・339)			井上 和宣 (神奈川)		清水 徹也 (神奈川)	
少年女子	団体	鳥取	1825	児玉 晶子 646 宮根 幸恵 613 小椋 和子 566	静岡	鹿野 貞子 伊藤亜由美 中野 文枝	青森	鳥谷部郁子 苔米地由加里 四戸 正代
	個人	児玉 晶子 (鳥取) 646(302・344)			村川かおり (北海道)		宮根 幸恵 (鳥取)	

第41回		第1位 神奈川県		第1位 山梨県		昭和61年		
男女総合		第2位 山梨県		女子総合		第2位 神奈川県		
かいじ国体		第3位 北海道		第3位 北海道		山梨県敷島町		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	神奈川県	1998	松下 和幹 670 室伏優一郎 669 A 別府 幸治 659	鳥取	松田 武文 山上 直之 A 木村 哲二	福岡	吉村 正秀 村上 清美 水之江規之
	個人	塩田 浩一 (京都) 672(325・347)		松下 和幹 (神奈川県)		室伏優一郎 (神奈川県)		
成年女子	団体	神奈川県	1907	児玉 晶子 652 安田みづほ 648 飯島 久代 607	山梨	大木 豊子 諏訪 景子 石水 年子	山口	石津 裕子 小山 聡子 柴原由美子
	個人	大木 豊子 (山梨) 654(311・343)		児玉 晶子 (神奈川県)		安田みづほ (神奈川県)		
少年男子	団体	北海道	1876	鎌田 芳彰 662 平田 正信 630 堀内 勝 584	愛知	田島 光浩 坂本圭次郎 蟹江 康	滋賀	山口 雅浩 池野 邦広 溪 充
	個人	鎌田 芳彰 (北海道) 662(325・337)		田島 光浩 (愛知)		坂本圭次郎 (愛知)		
少年女子	団体	山梨	1850	中込佐知子 636 中込 恵子 628 石川 歩 586	静岡	松原 栄子 内藤 公子 内藤 知巳	青森	姉崎優美子 小林 瑞枝 伊藤 佐和
	個人	中込佐知子 (山梨) 636(298・338)		松原 栄子 (静岡)		中込 恵子 (山梨)		
第42回		第1位 神奈川県		第1位 福岡県		昭和62年		
男女総合		第2位 沖縄県		女子総合		第2位 神奈川県・滋賀県		
海邦国体		第3位 福岡県		第3位		沖縄県宜野湾市		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	神奈川県	1915	松下 和幹 655 田中喜美夫 635 A 別府 幸治 625	大阪	太田 謙治 前田栄一郎 藤堂 博	静岡	古橋 照司 稲川 篤郎 小笠原 誠
	個人	松下 和幹 (神奈川県) 655(315・340)		古橋 照司 (静岡)		太田 謙治 (大阪)		
成年女子	団体	神奈川県	1838	児玉 晶子 639 安田みづほ 638 飯島 久代 561	福岡	近藤 貴美 村里 栄子 浦川 記子	愛知	山首 一恵 飯田あけみ 石田 佳子
	個人	児玉 晶子 (神奈川県) 639(290・349)		安田みづほ (神奈川県)		村川かおり (北海道)		
少年男子	団体	沖縄	1901	高良 修一 638 新嵩 善博 635 伊佐 真和 628	神奈川県	川上 憲二 高広 和弥 足立 秀樹	北海道	鎌田 芳彰 盛一 成行 桑原 勝弘
	個人	高良 修一 (沖縄) 638(304・334)		新嵩 善博 (沖縄)		高崎 誠 (福岡)		
少年女子	団体	滋賀	1857	三品加奈子 630 近藤 宜子 619 杉山美智子 608	福岡	坂田美穂子 岩山 美保 田中 聡美	静岡	中西 恵美 松原 栄子 近藤 真弓
	個人	大城 春野 (沖縄) 636(307・329)		三品加奈子 (滋賀)		松宮真由美 (福井)		
第43回		第1位 福岡県		第1位 北海道		昭和63年		
男女総合		第2位 北海道		女子総合		第2位 福岡県		
京都国体		第3位 神奈川県		第3位 京都府		京都府日吉町		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	神奈川県	2002	山本 博 690 松下 和幹 674 佐々木昭一 638	福岡	泉 康宏 村上 清美 養父 修司	愛媛	A 埜下 正 中田 恭弘 渡部 淳
	個人	山本 博 (神奈川県) 690(336・354)		松下 和幹 (神奈川県)		吉村 正秀 (鹿児島)		
成年女子	団体	神奈川県	1851	児玉 晶子 644 安田みづほ 642 山口佳代子 565	北海道	姉崎優美子 池垣 倫子 門山 美恵	京都	藤本 正美 勝山 裕子 土淵 聡子
	個人	中川さつき (広島) 654(323・331)		児玉 晶子 (神奈川県)		近藤 貴美 (福岡)		
少年男子	団体	埼玉	1875	吉田 稔 641 太田 康彦 626 新島 義和 608	広島	藤本 昌悟 中園 祐次 戸田 敦大	高知	小笠原長岳 北村 秀文 田口 誠一
	個人	於久 直人 (滋賀) 654(312・342)		小笠原長岳 (高知)		吉田 稔 (埼玉)		
少年女子	団体	福岡	1861	岡部 由布 633 田中 聡美 619 岩山 美保 609	北海道	高田 芳江 笠井 正子 佐野利恵子	京都	小山美代子 林 康恵 福田 要子
	個人	高田 芳江 (北海道) 642(305・337)		小山美代子 (京都)		岡部 由布 (福岡)		

第44回		第1位 北海道		第1位 北海道		平成元年		
男女総合		第2位 静岡県		女子総合		第2位 福岡県・静岡県		
はまなす国体		第3位 滋賀県・福岡県		第3位		北海道旭川市		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	静岡	1954	稲川 篤郎 666 古橋 照司 664 A 広瀬 明 624	神奈川	松下 和幹 内海 啓 A 川西 大介	奈良	A 山城信二郎 上村 乃太 米原 俊章
	個人	松下 和幹 (神奈川) 675(327・348)		稲川 篤郎 (静岡)		古橋 照司 (静岡)		
成年女子	団体	滋賀	1859	大木 豊子 647 三品加奈子 628 小田 洋子 584	北海道	池垣 倫子 村川かおり 姉崎優美子	福岡	近藤 貴美 香月 京子 森永 公子
	個人	池垣 倫子 (北海道) 652(317・335)		大木 豊子 (滋賀)		三品加奈子 (滋賀)		
少年男子	団体	滋賀	1911	赤井 雅宏 648 於久 直人 646 高島 竜象 617	東京	大橋 亨 小櫃 豊彦 相沢 真樹	青森	大山 春秋 室谷 広樹 宮本 健司
	個人	大橋 亨 (東京) 649(313・336)		赤井 雅宏 (滋賀)		於久 直人 (滋賀)		
少年女子	団体	北海道	1885	高田 芳江 638 佐野利恵子 624 山田奈央子 623	広島	長見みどり 栗森 倫代 守屋いづみ	兵庫	池田裕紀子 木場美千代 山下 尚子
	個人	長見みどり (広島) 641(304・337)		高田 芳江 (北海道)		井上鹿代子 (静岡)		
第45回		第1位 福岡県		第1位 福岡県・静岡県		平成2年		
男女総合		第2位 京都府		女子総合		第2位		
とびうめ国体		第3位 広島県		第3位 埼玉県・京都府・広島県		福岡県北九州市		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	京都	1966	A 上田 訓久 666 西井 賢一 654 尾原 大三 646	広島	A 福島 徹 藤本 昌悟 松本 昌昭	愛知	山田 康宏 蟹江 康 A 岡本 邦雄
	個人	西川 定 (佐賀) 667(320・347)		上田 訓久 (京都)		中田 恭弘 (福岡)		
成年女子	団体	東京	1875	早稲田雅子 637 田居麻里子 622 宮本 正子 616	山形	池田 敦美 戸川 桂子 池田 秀美	広島	平末 千秋 市木 玲子 栗森 倫代
	個人	池田 敦美 (山形) 644(312・332)		早稲田雅子 (東京)		伊藤亜由美 (山形)		
少年男子	団体	福岡	1905	西川 清一 655 森山 俊郎 627 宮永 雅史 623	沖縄	親泊 竜也 小濱 久師 大茂 正明	神奈川	中島 嘉一 杉井 良治 橋本 祐司
	個人	西川 清一 (福岡) 655(312・343)		親泊 竜也 (沖縄)		加賀山俊幸 (山形)		
少年女子	団体	埼玉	1850	長崎 美穂 652 石沢 純子 606 吉田しのぶ 592	京都	矢守 智美 小山 文子 西村 律子	青森	川村由紀子 下田 真弓 若松 禎子
	個人	長崎 美穂 (埼玉) 652(316・336)		小橋川真裕美 (沖縄)		矢守 智美 (京都)		
第46回		第1位 広島県		第1位 石川県		平成3年		
男女総合		第2位 石川県		女子総合		第2位 広島県		
石川国体		第3位 静岡県		第3位 静岡県		石川県柳田村		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	京都	1937	上田 訓久 657 塩田 浩一 645 西井 賢一 635	広島	福島 徹 戸田 敦大 松木 裕二	新潟	高野 昭 岩坂 栄長 長 好春
	個人	西川 清一 (福岡) 659(319・340)		上田 訓久 (京都)		高野 昭 (新潟)		
成年女子	団体	広島	1813	長見みどり 610 正守 由紀 604 平末 千秋 599	石川	山首 一恵 岡野 薫 形 美和子	新潟	北原 京子 丸田 薫 小沢 昭子
	個人	北原 京子 (新潟) 640(307・333)		山首 一恵 (石川)		早稲田雅子 (東京)		
少年男子	団体	滋賀	1913	松村 庫司 650 西村 拓哉 634 上野 貴裕 629	静岡	平尾 彰浩 宮崎 克巳 嶋津 裕亮	広島	藤原 悟 内藤 宏道 宮崎 庄司
	個人	松村 庫司 (滋賀) 650(309・341)		藤原 悟 (広島)		田中 勝美 (神奈川)		
少年女子	団体	静岡	1750	坂本 眞琴 607 持田 牧 586 藤原 久美 557	福岡	村上 千夏 坂口 絵里 黒岩 公美	石川	西又 良美 北西 良枝 井平 勝美
	個人	小橋川真裕美 (沖縄) 620(289・331)		三ツ山香里 (京都)		坂元 眞琴 (静岡)		

第47回		第1位 広島県		第1位 広島県		平成4年		
男女総合		第2位 北海道		女子総合		第2位 北海道・山形県		
べにばな国体		第3位 京都府		第3位		山形県鶴岡市		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	埼玉	1957	山本博 686 松下和幹 666 A鈴木正男 605	広島	戸田敦大 A福島徹 松木裕二	京都	上田訓久 塩田浩一 A西井賢一
	個人	山本博 (埼玉) 686(335・351)		松下和幹 (埼玉)		戸田敦大 (広島)		
成年女子	団体	山形	1824	池田秀美 616 池田敦美 604 本間静恵 604	北海道	池垣倫子 早乙女明子 米澤昌子	広島	中川さつき 市木玲子 平末千秋
	個人	池垣倫子 (北海道) 621(293・328)		池田秀美 (山形)		鈴木知子 (愛知)		
少年男子	団体	青森	1847	斉藤一哉 623 山田美喜 621 安保秀昭 603	京都	久我泰成 山崎孝志 駒井祥人	静岡	嶋津裕亮 小杉晃一 加藤昌之
	個人	相蘇義章 (北海道) 631(294・337)		嶋津裕亮 (静岡)		松岡洋之 (広島)		
少年女子	団体	広島	1802	大内愛 618 倉本美幸 595 内藤恵美 589	福岡	川上祐佳里 加藤美紀 池田知佳子	滋賀	角田義美 竹中麻由美 奥谷しずか
	個人	角田義美 (滋賀) 620(290・330)		大内愛 (広島)		山岡麗子 (神奈川)		
第48回		第1位 広島県		第1位 兵庫県・広島県		平成5年		
男女総合		第2位 北海道		女子総合		第2位		
東四国国体		第3位 香川県		第3位 北海道		香川県仲南町 香川県財田町		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	埼玉	2015	山本博 676 A松下和幹 673 石鉢利明 666	北海道	相蘇義章 清水浩 A茂木健二	福岡	西川清一 A湯村重人 古賀秀一
	個人	山本博 (埼玉) 676(331・346)		松下和幹 (埼玉)		石鉢利明 (埼玉)		
成年女子	団体	兵庫	1802	藤田玲子 609 谷岡和子 603 池田裕紀子 590	広島	大内愛 市木玲子 平末千秋	京都	三ッ山香里 森本淳子 小山美代子
	個人	持田牧 (静岡) 620(290・330)		大内愛 (広島)		三ッ山香里 (京都)		
少年男子	団体	広島	1913	増長新吾 645 新谷昌也 634 竹島昌平 634	大阪	末口広宣 木下裕章 榎堅晋吾	神奈川	藤井延欣 田代和繁 加藤貴之
	個人	末口広宣 (大阪) 649(310・339)		増長新吾 (広島)		坪根裕樹 (福岡)		
少年女子	団体	広島	1902	堂免美香 639 片山奈美 636 脇田礼子 627	兵庫	洞真希子 野元麻里 池上真理子	北海道	斉藤比咲 大橋美香 上田瞳
	個人	斉藤比咲 (北海道) 642(306・336)		堂免美香 (広島)		片山奈美 (広島)		
第49回		第1位 広島県		第1位 神奈川県		平成6年		
男女総合		第2位 神奈川県		女子総合		第2位 広島県		
わかしやち国体		第3位 福島県・愛知県		第3位 福岡県		愛知県岡崎市		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	埼玉	1978	A松下和幹 670 山本博 659 石鉢利明 649	佐賀	古川学 西川定 A野口利雄	京都	塩田浩一 A西井賢一 駒井祥人
	個人	松下和幹 (埼玉) 670(324・346)		山本博 (埼玉)		古川学 (佐賀)		
成年女子	団体	神奈川	1834	松阪裕美 622 久保田早苗 608 大木真理 604	福岡	川上祐佳里 谷口和子 松枝滋子	福島	小林浩子 中野渡留美 稀代貴子
	個人	川上祐香里 (福岡) 637(294・343)		松阪裕美 (神奈川)		大内愛 (広島)		
少年男子	団体	福島	1933	村越永人 665 橋本邦彦 638 箭内宏行 630	愛知	舟橋裕樹 高井武志 小山敦史	兵庫	尾上輝樹 真鍋修二 美淋康輔
	個人	村越永人 (福島) 665(317・348)		舟橋裕樹 (愛知)		桜井隼 (東京)		
少年女子	団体	広島	1782	河崎由加里 597 久保田彩子 593 仁井田明美 592	神奈川	寺尾千香庫 若松由紀 飯島めぐみ	兵庫	富島優 中山志保 未田明日香
	個人	成田美栄子 (青森) 612(285・327)		斉藤比咲 (北海道)		田原雅代 (愛知)		

第50回		第1位 福岡県		第1位 広島県		平成7年		
男女総合		第2位 広島県		女子総合		第2位 福島県・愛知県		
ふくしま国体		第3位 愛知県		第3位		福島県三春町		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	埼玉	1985	山本 博 685 石鉢 利明 654 A 松下 和幹 646	福岡	坪根 裕樹 A 湯村 重人 古賀 秀一	広島	戸田 敦大 松本 裕二 A 松本 昌昭
	個人	山本 博 (埼玉)		685(335・350)	石鉢 利明 (埼玉)		堀川 肇充 (香川)	
成年女子	団体	福島	1887	小林 浩子 648 稀代 貴子 626 中野渡留美 613	広島	大内 愛 河崎由加里 市木 玲子	福岡	熊谷 愛 谷口 和子 森永 公子
	個人	小林 浩子 (福島)		648(307・341)	曾根早余子 (香川)		大内 愛 (広島)	
少年男子	団体	福岡	1919	田原 要 650 松田 浩行 646 田代 裕也 623	愛知	鴨下 勝 舟橋 裕樹 山崎 誠	神奈川	霜村 隆史 三浦 佑 相馬 揚介
	個人	鴨下 勝 (愛知)		656(312・344)	村越 永人 (福島)		田原 要 (福岡)	
少年女子	団体	広島	1721	植野 愛美 590 岩重 景 578 沖本 美詠 553	愛知	田原 雅代 岩井由香里 増井のぞみ	鳥取	平山 真弓 小林 恵美 後藤 美絵
	個人	小出美沙都 (大分)		609(286・323)	新藤南海子 (沖縄)		田原 雅代 (愛知)	
第51回		第1位 広島県		第1位 広島県		平成8年		
男女総合		第2位 福岡県		女子総合		第2位 愛知県・佐賀県		
ひろしま国体		第3位 北海道・兵庫県		第3位		広島県呉市		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	埼玉	1997	山本 博 673 A 松下 和幹 667 石鉢 利明 657	福岡	A 湯村 重人 坪根 裕樹 松田 浩行	兵庫	井上 勝治 尾上 輝樹 A 橋本 博行
	個人	末口 広宣 (大阪)		678(334・344)	上村 乃太 (奈良)		山本 博 (埼玉)	
成年女子	団体	佐賀	1917	浅野 真弓 653 児玉 絹枝 648 濱本 統子 616	広島	平末 千秋 市木 玲子 中川さつき	神奈川	大木 真理 山岡 麗子 佐藤 知香
	個人	浅野 真弓 (佐賀)		653(315・338)	大木 真理 (神奈川)		児玉 絹枝 (佐賀)	
少年男子	団体	広島	1907	坂本 識史 651 近藤 豊将 650 北風 智章 606	福岡	橋岡 昭仁 福島 岳彦 吉光 隆敏	兵庫	土井 隆嗣 竹井 智宏 永井 大貴
	個人	橋岡 昭二 (福岡)		664(323・341)	高木 博康 (北海道)		高松 大輔 (三重)	
少年女子	団体	愛知	1846	大平 泉美 636 田原 雅代 626 宇野 久恵 584	山口	岡本 愛 牧原 澄枝 勝谷 美紀	北海道	大湊 育美 小林 友美 保里 雅美
	個人	大平 泉美 (愛知)		636(298・338)	岡本 愛 (山口)		平田 光代 (熊本)	
第52回		第1位 北海道		第1位 兵庫県		平成9年		
男女総合		第2位 大阪府		女子総合		第2位 北海道・佐賀県		
なみはや国体		第3位 静岡県		第3位		大阪府堺市		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	静岡	1865	山縣朝太郎 643 菊池 功吉 614 A 古橋 照司 608	大阪	末口 広宣 湯脇 英夫 A 木下 太一	福島	上田 訓久 村越 永人 A 小野 勉
	個人	山縣朝太郎 (静岡)		643(310・333)	末口 広宣 (大阪)		湯脇 英夫 (大阪)	
成年女子	団体	佐賀	1909	浅野 真弓 660 児玉 絹枝 633 中島華奈子 616	福岡	川内紗代子 川上祐佳里 谷口 和子	神奈川	大木 真理 山岡 麗子 加藤麻里子
	個人	浅野 真弓 (佐賀)		660(322・338)	寄谷 文 (石川)		川内紗代子 (福岡)	
少年男子	団体	北海道	1758	北村 純一 593 國田 卓 584 福原 裕 581	滋賀	林 達也 伊藤 公一 増田 貴彦	大阪	中原 啓隆 島本 洋介 稲本 雅由
	個人	加藤 桂規 (愛知)		622(292・330)	北村 純一 (北海道)		林 達也 (滋賀)	
少年女子	団体	北海道	1669	大湊 育美 594 竹本 恭子 541 小林 友美 534	兵庫	鴨志田朋子 坪内 美沙 福本 綾子	熊本	平田 光代 田口香奈子 島田亜紀子
	個人	大湊 育美 (北海道)		594(265・329)	鴨志田朋子 (兵庫)		平田 光代 (熊本)	

第53回		第1位 神奈川県・兵庫県		第1位 兵庫県		平成10年		
男女総合		第2位		女子総合		第2位 北海道		
かながわ・ゆめ国体		第3位 広島県		第3位 神奈川県・広島県・大分県		神奈川県湯河原町		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	埼玉	1968	島村 一郎 659 山下 毅 657 戸手 隆盛 652	大阪	稲本 雅由 木下 太一 横山 武史	山口	妹尾 克己 吉富 和成 坪根 裕樹
	個人	稲本 雅由 (大阪) 678(331・347)		村越 永人 (福島)		妹尾 克己 (山口)		
成年女子	団体	兵庫	1893	岩崎 友加 636 永田 淑子 633 未田明日香 624	広島	河崎由加里 宮地 玲子 山田三千代	群馬	瀧野 真子 渡辺恵美子 百海 悦子
	個人	河崎由加里 (広島) 652(312・340)		瀧野 真子 (群馬)		倉本 美幸 (徳島)		
少年男子	団体	愛知	1946	加藤 桂規 655 青山 哲也 652 松崎 正 639	広島	中濱 賢一 濱野 裕二 森本 智法	岩手	角 清一 中村 守克 植村 太也
	個人	加藤 桂規 (愛知) 655(311・344)		中濱 賢一 (広島)		青山 哲也 (愛知)		
少年女子	団体	兵庫	1876	田中 紗代 642 野澤 陽子 637 山路 陽子 597	大分	山本 恵美 住川 裕香 松下紗耶未	富山	米田美代子 中陳 貴保 鍵田 里絵
	個人	中村梨紗子 (北海道) 652(313・339)		田中 紗代 (兵庫)		野澤 陽子 (兵庫)		
第54回		第1位 広島県		第1位 広島県・福岡県		平成11年		
男女総合		第2位 佐賀県		女子総合		第2位		
くまもと・未来国体		第3位 福岡県		第3位 愛知県		熊本県菊陽町		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	埼玉	238	松下 和幹 山本 博 山下 毅	佐賀	牧山 雅文 野口 利雄 松田 泰典	広島	吉田 誠志 濱野 裕二 松本 昌昭
	個人	原口 航 (熊本) 1281(292・326・321・342)		松下 和幹 (埼玉)		山本 博 (埼玉)		
成年女子	団体	愛知	216	宇野 久恵 榊原 明美 大平 泉美	兵庫	永田 淑子 坪内 美沙 岩崎 友加	福岡	川内紗代子 宗 幸代 安部 由比
	個人	永田 淑子 (兵庫) 1268(315・320・299・334)		川内 紗代子 (福岡)		坪内 美沙 (兵庫)		
少年男子	団体	広島	195	松本 匡司 下田 辰也 重谷圭詞郎	佐賀	井上 紀行 井原 良彦 山本 祥平	千葉	神崎 勝己 星野 大士 水原 良光
	個人	大井 隼 (富山) 1259(285・310・324・340)		青山 哲也 (愛知)		井上 紀行 (佐賀)		
少年女子	団体	広島	213	新谷 幸子 木村 律子 福田 笑子	福岡	森田 由子 陣原 千紘 蔵原ともみ	滋賀	井上 敏美 青木 麻理 石田 弓子
	個人	松下紗耶未 (大分) 1265(305・321・311・328)		橋戸 由梨 (岐阜)		細田 風子 (奈良)		
第55回		第1位 広島県		第1位 広島県		平成12年		
男女総合		第2位 山形県・大阪府・兵庫県・熊本県		女子総合		第2位 山形県		
2000年とやま国体		第3位		第3位 熊本県		富山県宇奈月町		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	埼玉	228	松下 和幹 山本 博 脇野 智和	大阪	末口 広宣 島本 洋介 稲本 雅由	愛知	高井 武志 村井 啓毅 松崎 正
	個人	山本 博 (埼玉) 1308(286・331・341・350)		井上 喜正 (滋賀)		松下 和幹 (埼玉)		
成年女子	団体	広島	220	河崎由加里 宮地 玲子 三浦由紀子	山口	岡本 洋子 佐野 英子 勝谷 美紀	山形	奥山 美樹 五十嵐愛加 榎本 静香
	個人	浅野 真弓 (佐賀) 1306(315・322・312・347)		川内紗代子 (福岡)		河崎由加里 (広島)		
少年男子	団体	兵庫	232	岡田 和典 北山 大輔 藤井 康史	佐賀	打越 大輔 岩崎 圭介 千住 幸輝	大阪	今井 裕之 荒川 勇輔 岡本 春一
	個人	林 和弘 (群馬) 1237(281・311・308・337)		宇佐美剛史 (愛知)		中山 由一 (熊本)		
少年女子	団体	熊本	206	松田有紀美 橋本 晃子 濱口いづみ	山形	渡部 千里 庄司恵美子 齋藤 明美	広島	新谷 幸子 福田 笑子 木村 律子
	個人	浦田由佳子 (富山) 1247(301・318・295・333)		橋本 晃子 (熊本)		吉富 舞香 (大分)		

第56回		第1位 兵庫県	第1位 兵庫県	平成13年
男女総合		第2位 愛知県	女子総合 第2位 山形県	
新世紀・みやぎ国体		第3位 富山県・滋賀県	第3位 愛知県	宮城県東和町
種別	区分	第 1 位	第 2 位	第 3 位
成年男子	団体	埼玉 239 松下 和幹 山本 博 脇野 智和	広島 濱野 裕二 戸田 敦大 吉田 誠志	愛知 高井 武志 青山 哲也 松崎 正
	個人	山本 博 (埼玉) 1307(295・325・332・355)	濱野 裕二 (広島)	塩田 浩一 (京都)
成年女子	団体	兵庫 218 坪内 美沙 永田 淑子 野澤 陽子	滋賀 井上 敏美 高山 康代 高瀬 真希	山形 奥山 美樹 五十嵐愛加 榎本 静香
	個人	浅野 真弓 (佐賀) 1306(313・334・318・341)	坪内 美沙 (兵庫)	河崎由加里 (広島)
少年男子	団体	富山 236 前本 卓 佐藤 彰一 清水 洋兵	佐賀 本山 隆道 松本 康太 渡邊 健太	滋賀 上村 展弘 長村 邦彦 藤田 真和
	個人	赤坂 清 (宮城) 1258(281・317・319・341)	長村 邦彦 (滋賀)	伊賀 崇人 (香川)
少年女子	団体	兵庫 239 瀬川ゆかり 林 勇気 末陰 章奈	宮城 及川 亜由 大山 幸恵 山田 舞	愛知 長田 直美 大原 彩 柴田 愛美
	個人	瀬川ゆかり (兵庫) 1279(302・320・309・348)	長田 直美 (愛知)	吉丸まき子 (佐賀)
第57回		第1位 佐賀県	第1位 滋賀県	平成14年
男女総合		第2位 滋賀県	女子総合 第2位 佐賀県	
よさこい・高知国体		第3位 埼玉県・静岡県	第3位 京都府	高知県梶原町
種別	区分	第 1 位	第 2 位	第 3 位
成年男子	団体	埼玉 241 松下 和幹 山本 博 重谷圭詞郎	岡山 加藤 秀人 湯脇 英夫 木村 明弘	東京 田中 敬一 木村 正純 沼崎美紀夫
	個人	山本 博 (埼玉) 1219(247・314・310・348)	中平 伸一 (大阪)	門倉 真人 (神奈川)
成年女子	団体	京都 229 福島 美幸 塩田 佳苗 上野百子	滋賀 西川千加子 堀井 智美 井上 敏美	群馬 渡辺恵美子 新井えりか 百海 悦子
	個人	榎本 静香 (山形) 1242(286・316・301・339)	浅野 真弓 (佐賀)	福島 美幸 (京都)
少年男子	団体	静岡 232 柴田 裕之 松井 寛和 永田 雅也	広島 菊地 栄樹 中村 仁 瀬尾 聡裕	佐賀 松本 康太 石丸 友秋 山田 健作
	個人	古川 高晴 (青森) 1154(221・302・294・337)	島村 健一 (埼玉)	赤坂 清 (宮城)
少年女子	団体	滋賀 230 梶原 百恵 大橋 裕子 山田 好美	兵庫 瀬川ゆかり 坂田安紀子 林 勇気	青森 大浦真紀子 前田 実季 高森 良子
	個人	瀬川ゆかり (兵庫) 1217(292・301・295・329)	猪股 香菜 (宮城)	馬場可那子 (佐賀)
第58回		第1位 大分県	第1位 大分県	平成15年
男女総合		第2位 静岡県・大阪府・広島県	女子総合 第2位 富山県	
NEW!!わかふじ国体		第3位	第3位 兵庫県	静岡県榛原町
種別	区分	第 1 位	第 2 位	第 3 位
成年男子	団体	大阪 207 守屋 龍一 西川 清一 浦名 直樹	東京 木村 正純 田中 敬一 沼崎美紀夫	静岡 古橋 照司 山縣朝太郎 松井 寛和
	個人	山本 博 (埼玉) 1310(315・322・317・356)	脇野 智和 (埼玉)	守屋 龍一 (大阪)
成年女子	団体	兵庫 162 川内紗代子 林 勇気 瀬川ゆかり	広島 森田 由美 河崎由加里 新谷 幸子	静岡 近藤 真弓 鈴木久美子 鈴木早緒美
	個人	松下紗耶未 (大分) 1307(323・327・312・345)	川内紗代子 (兵庫)	林 勇気 (兵庫)
少年男子	団体	広島 171 中村 仁 菊地 栄樹 栗栖 正臣	大阪 小橋口圭彦 加守 弘明 橋本 和紀	大分 天野 良太 平原 圭章 大野 祐貴
	個人	中村 仁 (広島) 1281(295・315・327・344)	菊地 栄樹 (広島)	天野 良太 (大分)
少年女子	団体	大分 173 岡部 恵奈 柴尾佳なえ 森本 舞	京都 豊山 絵菜 谷口枝璃子 岡崎 路恵	滋賀 伊勢村祐紀 南 知里 小川 紗輝
	個人	岡部 恵奈 (大分) 1259(299・325・296・339)	三上 希望 (青森)	太田 友美 (愛知)

第59回		第1位 北海道・神奈川県	第1位 北海道・佐賀県・長崎県	平成16年
男女総合		第2位	女子総合	第2位
彩の国まごころ国体		第3位 埼玉県・富山県・広島県	第3位	埼玉県宮代町
種別	区分	第 1 位	第 2 位	第 3 位
成年男子	団体	熊本 233 坂本 隆輝 植田 浩太 中山 由一	長野 丸山 貴之 小池 栄太 井原 一厳	埼玉 山本 博 脇野 智和 島村 健一
	個人	山本 博 (埼玉) 1314(309・332・322・351)	脇野 智和 (埼玉)	田中 敬一 (東京)
成年女子	団体	佐賀 232 浅野 真弓 馬場可那子 吉丸まき子	山形 榎本 静香 三浦 美樹 渡部 千里	鳥取 木内絵美子 山崎 麻衣 山根 麻貴
	個人	浅野 真弓 (佐賀) 1310(313・333・319・345)	榎本 静香 (山形)	大塚 妙子 (神奈川)
少年男子	団体	奈良 221 福田 圭宏 上田 博紀 恒岡 新力	北海道 石山 純平 中田 修平 古川 大	広島 松本 彰平 北木 秀司 出本 敬明
	個人	福田 圭宏 (奈良) 1262(288・311・319・344)	築地 和也 (福岡)	松本 彰平 (広島)
少年女子	団体	北海道 201 西川 祐未 安田 聡美 中山 美希	大分 後藤 緑 麻生 佳子 坂井 綾乃	和歌山 琴浦 深雪 大津紗綾香 谷口 雅子
	個人	新井 麻美 (埼玉) 1260(300・324・298・338)	西川 祐未 (北海道)	後藤 緑 (大分)
第60回		第1位 京都府	第1位 京都府	平成17年
男女総合		第2位 広島県・香川県	女子総合	第2位 富山県
晴れの国おかやま国体		第3位	第3位 兵庫県	岡山県日生町
種別	区分	第 1 位	第 2 位	第 3 位
成年男子	団体	広島 233 菊地 栄樹 松本 彰平 中村 仁	静岡 松井 寛和 古橋 照司 山縣朝太郎	香川 伊賀 嵩人 廣瀬 基 本多 道雄
	個人	那須 皇嗣 (和歌山) 632(311・321)	菊地 栄樹 (広島)	天野 良太 (大分)
成年女子	団体	兵庫 220 北畠紗代子 林 勇氣 瀬川ゆかり	京都 上野百百子 山田 恵 坂井 茉帆	富山 柚木 千春 寺田 春菜 広野 麻衣
	個人	浅野 真弓 (佐賀) 622(319・303)	柚木 千春 (富山)	仲肥由里子 (岡山)
少年男子	団体	長野 230 山崎 由晃 齊藤 一平 宮下 朋幸	京都 金村 賢 塩見 秀馬 木下 翔平	宮城 松木 俊道 工藤 靖也 伊藤 和也
	個人	金村 賢 (京都) 628(312・316)	松木 俊道 (宮城)	福田 圭宏 (奈良)
少年女子	団体	京都 221 藤田 梓 藤井千紗子 岡 育美	和歌山 前山明日香 三垣日登美 濱田 紘代	福岡 大家くる美 国武 綾子 貫野まいこ
	個人	前山明日香 (和歌山) 583(300・283)	松浦由加子 (富山)	西川 祐未 (北海道)
第61回		第1位 広島県	第1位 広島県	平成18年
男女総合		第2位 神奈川県	女子総合	第2位 佐賀県
のじぎく兵庫国体		第3位 佐賀県	第3位 群馬県	兵庫県加東市
種別	区分	第 1 位	第 2 位	第 3 位
成年男子	団体	神奈川 196 門倉 真人 橋本 千秋 田畑 隼剛	長野 丸山 貴之 宮原 雅 宮下 朋幸	兵庫 末口 広宣 藤井 康史 山本 諒
	個人	天野 良太 (大分) 619(307・312)	末口 広宣 (兵庫)	脇野 智和 (埼玉)
成年女子	団体	静岡 183 鈴木久美子 近藤 真弓 村田 有香	広島 河崎由加里 三木 典子 森田 由美	神奈川 松坂 裕美 早川 浪 大塚 妙子
	個人	南 知里 (滋賀) 633(320・313)	早川 浪 (神奈川)	浅野 真弓 (佐賀)
少年男子	団体	広島 210 小林 史弥 松本 皓太 炭本 拓郎	青森 山本 陽一 笹森 将来 山田 祐嗣	愛知 坂野 太一 大島 淳 土岐 秀幸
	個人	岩本 雅英 (埼玉) 590	西村 義貴 (長崎)	坂野 太一 (愛知)
少年女子	団体	群馬 185 松本 千晶 林 享美 小林 絵美	広島 圖師未希絵 矢田具静江 小西 由華	愛知 青山絵美子 新海 彩 蟹江 美貴
	個人	坂本いつか (香川) 579(281・298)	圖師未希絵 (広島)	渡邊なつき (大阪)

種別		区分		第 1 位		第 2 位		第 3 位		
第62回										
男女総合				第1位 佐賀県	女子総合				第1位 静岡県・佐賀県	平成19年
秋田わか杉国体				第2位 愛知県					第2位	
				第3位 兵庫県					第3位 滋賀県・大阪府	秋田県北秋田市
成年男子	団体	兵庫	212	末口 広宣 藤井 康史 山本 諒	大分	天野 良太 大野 佑貴 石津 優	大阪	古川 高晴 土井 友幹 守屋 龍一		
	個人	古川 高晴 (大阪) 671(337・334)			宮原 雅 (長野)		田畑 隼剛 (神奈川)			
成年女子	団体	静岡	203	近藤 真弓 鈴木久美子 長岡 光江	滋賀	伊勢村祐紀 南 知里 井上 敏実	和歌山	濱田 紘代 三垣日登美 前山明日香		
	個人	北畠紗代子 (兵庫) 639(323・316)			前山明日香 (和歌山)		浅野 真弓 (佐賀)			
少年男子	団体	佐賀	200	美野田晃大 吉永 弘幸 岩田 健祐	愛知	土岐 秀幸 大島 淳 坂野 太一	東京	牧野 吉朗 佐藤 博乙 奥野 晃太		
	個人	坂野 太一 (愛知) 648(325・323)			大島 淳 (愛知)		牧野 吉朗 (東京)			
少年女子	団体	佐賀	198	東川映巳厘 小部恵理子 辛川 英里	大阪	上山 咲 岡本 章子 大嶋 恵	新潟	佐野 雅恵 山口 美紅 佐野 萌美		
	個人	圖師未希絵 (広島) 644(324・320)			佐野 雅恵 (新潟)		大長 愛実 (静岡)			
第63回										
男女総合				第1位 広島県	女子総合				第1位 和歌山県	平成20年
チャレンジ! おおいた国体				第2位 佐賀県					第2位 静岡県・兵庫県	
				第3位 神奈川県					第3位	大分県由布市
成年男子	団体	佐賀	218	吉永 弘幸 美野田晃大 岩田 健祐	広島	戸田 敦大 菊地 栄樹 小林 史弥	愛知	坂野 太一 土岐 秀幸 大島 淳		
	個人	古川 高晴 (大阪) 676(340・336)			菊地 栄樹 (広島)		田畑 隼剛 (神奈川)			
成年女子	団体	静岡	206	近藤 真弓 鈴木久美子 長岡 光江	神奈川	早川 浪 伊藤 浩子 高沢 梨恵	和歌山	前山明日香 三垣日登美 谷口 雅子		
	個人	早川 浪 (神奈川) 663(331・332)			長岡 光江 (静岡)		林 勇氣 (京都)			
少年男子	団体	佐賀	204	末武 寛基 溝口 和輝 前野 修吾	長崎	渡邊 祐樹 静里 祥平 楠本 記也	静岡	内田 陽 小笠原琢磨 望月 洸太		
	個人	内田 陽 (静岡) 658(332・326)			前野 修吾 (佐賀)		佐藤 雅彦 (大分)			
少年女子	団体	兵庫	194	松永安紗子 足立 奈穂 池内 麻実	広島	圖師未希絵 加藤 彩 泉 陽香	和歌山	吉原 智恵 鈴木 葵 井上 万稚		
	個人	吉原 智恵 (和歌山) 628(315・313)			圖師未希絵 (広島)		松永安紗子 (兵庫)			
第64回										
男女総合				第1位 大分県	女子総合				第1位 大分県	平成21年
トキめき新潟国体				第2位 北海道					第2位 北海道・兵庫県	
				第3位 神奈川県・静岡県					第3位	新潟県燕市
成年男子	団体	大阪	214	古川 高晴 松下 太生 守屋 龍一	神奈川	池田 匡幸 田畑 隼剛 橋本 千秋	佐賀	美野田晃大 吉永 弘幸 末武 寛基		
	個人	菊地 栄樹 (広島) 651(327・324)			田畑 隼剛 (神奈川)		古川 高晴 (大阪)			
成年女子	団体	兵庫	197	早川 浪 足立 奈穂 松永安紗子	大分	安部 貴恵 管 真依子 松下紗耶未	静岡	近藤 真弓 齊藤 彩香 長岡 光江		
	個人	長岡 光江 (静岡) 630(319・311)			前山明日香 (和歌山)		寺井 真美 (熊本)			
少年男子	団体	広島	196	大田 昌平 村田 勇樹 小岩 創司	北海道	岸塚 祥矢 蓬田 昌伸 吉田 幸平	宮城	駒板 佳樹 佐々木那王 山田 卓		
	個人	小笠原琢磨 (静岡) 620(311・309)			岸塚 祥矢 (北海道)		佐藤 克紀 (神奈川)			
少年女子	団体	北海道	206	田中明日香 鈴木 彩夏 家後 美里	長崎	大久保 舞 川渕 真弓 樋口 栞菜	大分	森岡 明菜 日向瀬 碧 加藤 綾乃		
	個人	川中香緒里 (鳥取) 633(319・314)			加藤 綾乃 (大分)		田中明日香 (北海道)			

種別		区分		第 1 位		第 2 位		第 3 位	
第65回 男女総合 第1位 大分県 第2位 広島県 第3位 静岡県 女子総合 第1位 大分県 第2位 神奈川県 第3位 青森県・愛知県 平成22年 ゆめ半島千葉国体									
成年男子	団体	広島	221	菊地 栄樹 大田 昌平 小林 史弥	大分	天野 良太 金子 令 佐藤 雅彦	北海道	松原 孝臣 本間 隼人 蓬田 昌伸	
	個人	土岐 秀幸 (愛知) 652(327・325)			佐藤 博乙 (東京)		西村 義貴 (長崎)		
成年女子	団体	愛知	214	新海 彩 平 美香 蟹江 美貴	大分	緒方 里美 小出美沙都 松下紗耶未	和歌山	前山明日香 張間 舞妃 鈴木 葵	
	個人	早川 漣 (神奈川) 644(321・323)			長岡 光江 (岐阜)		前山明日香 (和歌山)		
少年男子	団体	大分	213	草野 雅人 阿部 慧史 吉田 真也	滋賀	今井 雅樹 尾崎 寛人 伊吹 友寿	岡山	江口 直樹 竹田 太郎 平山 晃基	
	個人	鬼山 直也 (山梨) 638(312・326)			江口 直樹 (岡山)		平山 晃基 (岡山)		
少年女子	団体	青森	205	斎藤 春菜 柏崎 寛奈 浅利 萌衣	大分	加藤 綾乃 佐藤真奈美 日向瀬 碧	静岡	杉林 りな 大石麻紀子 河合 希美	
	個人	佐藤真奈美 (大分) 616(313・303)			加藤 綾乃 (大分)		斎藤 春菜 (青森)		
第66回 男女総合 第1位 東京都・広島県 第2位 滋賀県 第3位 山口県 女子総合 第1位 青森県・山梨県・大阪府 第2位 山口県 第3位 山口県周防大島町 おいでませ山口国体									
成年男子	団体	広島	212	大田 昌平 小岩 創司 戸田 敦大	東京	本間 薫 佐藤 博乙 木村 正純	北海道	本間 隼人 佐々木和真 松原 孝臣	
	個人	山本 悠太 (兵庫) 663(334・329)			土岐 秀幸 (愛知)		田畑 隼剛 (神奈川)		
成年女子	団体	大阪	209	大嶋 恵 遊佐 萌藍 西村 紗芳	兵庫	足立 奈穂 松永安紗子 北畠紗代子	大分	佐川 枝里 佐藤真奈美 加藤 綾乃	
	個人	平 美香 (愛知) 627(308・319)			前山明日香 (静岡)		林 勇氣 (京都府)		
少年男子	団体	滋賀	208	南橋 勇輝 今井 雅樹 丸居昇太郎	東京	高野 晃 上妻 敬知 遠藤 優	広島	中村 翔 末田 翔司 山本 和樹	
	個人	中村 翔 (広島) 651(326・325)			今井 雅樹 (滋賀)		阿部 慧史 (大分)		
少年女子	団体	山梨	204	鬼山 美佳 永田 有紗 菊池 百花	京都	木村 真有 伊藤佐保梨 森本麻友美	神奈川	長網 美樹 及川 未稀 白井 美記	
	個人	杉林 りな (静岡) 619(314・305)			鬼山 美佳 (山梨)		原野 華子 (福岡)		
第67回 男女総合 第1位 広島県 第2位 和歌山県 第3位 大分県 女子総合 第1位 岐阜県 第2位 長崎県 第3位 広島県 平成24年 ぎふ清流国体									
成年男子	団体	埼玉	215	松井 孝夫 喜多田治彦 清水 雅英	広島	菊地 栄樹 大田 昌平 小林 史弥	東京	山本 博 佐藤 博乙 小林 慧	
	個人	田畑 隼剛 (神奈川) 672(334・338)			山本 博 (東京)		松井 孝夫 (埼玉)		
成年女子	団体	大分	216	松下紗耶未 加藤 綾乃 佐藤真奈美	長崎	早川 漣 大久保 舞 永峰 沙織	岐阜	長岡 光江 西村 紗芳 奥山 麻子	
	個人	早川 漣 (長崎) 649(322・327)			椎谷 直美 (神奈川)		川中香緒里 (鳥取)		
少年男子	団体	和歌山	211	津田 勇志 栗田 清貴 山田 啓睦	青森	三浦 雄樹 舘山 大基 千葉 恭平	大阪	住友 雅治 岡田 拓己 杉尾 知輝	
	個人	河田 悠希 (広島) 655(330・325)			津田 勇志 (和歌山)		水野 彰洋 (愛知)		
少年女子	団体	静岡	189	杉本 智美 鳥居 佳世 伊藤真由美	滋賀	吉田 淳子 服部 由莉 西野 汐梨	広島	坪田 沙織 松本 彩音 樽本 香奈	
	個人	西野 汐梨 (滋賀) 618(305・313)			杉本 智美 (静岡)		松本 彩音 (広島)		

第68回		第1位 広島県		第1位 広島県		平成25年		
男女総合		第2位 愛知県・和歌山県		女子総合		第2位 愛知県		
スポーツ祭東京		第3位		第3位 青森県・山梨県		東京都三鷹市		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	福岡	210	白附 亮 今井 拓麻 前田 悠帆	大分	天野 良太 大野 佑貴 金子 令	滋賀	尾崎 寛人 今井 雅樹 杉本 翔太
	個人	菊地 栄樹 (広島) 662(330・332)		山内 敬介 (神奈川)		石津 優 (広島)		
成年女子	団体	愛知	204	新海 彩 平 美香 蟹江 美貴	広島	石田明日香 松本 彩音 圖師未希絵	長崎	早川 漣 川渕 真弓 久原 千夏
	個人	早川 漣 (長崎) 651(322・329)		杉林 りな (静岡)		蟹江 美貴 (愛知)		
少年男子	団体	和歌山	213	山田 啓睦 坂本 一磨 倉矢 知明	広島	河田 悠希 岡本 靖寛 狩山 勇輝	愛知	不破 俊典 近藤 直哉 武藤 弘樹
	個人	杉尾 知輝 (大阪) 650(324・326)		河田 悠希 (広島)		鬼山 直也 (山梨)		
少年女子	団体	広島	208	小城 碧 山本紗矢香 吉山 唯	山梨	小野 綾香 菊池 百花 清水 遥	和歌山	古田 悠 殿田 留巳 平川 仁巳
	個人	古田 悠 (和歌山) 619(309・310)		小城 碧 (広島)		宮木芙美代 (青森)		
第69回		第1位 長崎県		第1位 長崎県		平成26年		
男女総合		第2位 滋賀県		女子総合		第2位 青森県・山梨県・京都府		
長崎がんばらんば国体		第3位 静岡県・広島県		第3位		長崎県佐世保市		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	神奈川		大井 一輝 田畑 隼剛 大貫 渉	滋賀	尾崎 寛人 今井 雅樹 杉本 翔汰	大分	金子 令 大野 佑貴 天野 良太
	個人	菊地 栄樹 (広島) 647(317・330)		鬼山 直也 (山梨)		尾崎 寛人 (滋賀)		
成年女子	団体	長崎		早川 漣 川渕 真弓 永峰 沙織	静岡	杉本 智美 杉林 りな 長岡 光江	京都	林 勇気 足立 奈穂 長村 恵里
	個人	川中香緒里 (鳥取) 667(329・338)		早川 漣 (長崎)		林 勇気 (京都)		
少年男子	団体	広島		河田 悠希 泉 雄也 奥 勇登	滋賀	山本 雅也 宇野 優人 和田 聖矢	静岡	小笠原奨悟 村井孝太郎 小川 哲生
	個人	河田 悠希 (広島) 643(319・324)		古賀 翔汰 (佐賀)		倉矢 知明 (和歌山)		
少年女子	団体	山梨		村木 友里 小野 綾香 清水 遥	長崎	濱田なつき 瀬川 聖奈 福島 央子	青森	宮本芙美代 檜館 紗希 松浦 実輝
	個人	小林 加奈 (福岡) 611(291・320)		濱田なつき (長崎)		若藤綺英羅 (愛媛)		
第70回		第1位 滋賀県		第1位 滋賀県・長崎県		平成27年		
男女総合		第2位 広島県		女子総合		第2位		
紀の国わかやま国体		第3位 和歌山県・青森県・長崎県		第3位 京都府		和歌山県日高川町		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	滋賀		尾崎 寛人 山本 雅也 杉本 翔太	和歌山	古川 高晴 土井 友幹 津田 勇志	広島	菊地 栄樹 岩田 歩 大田 昌平
	個人	古川 高晴 (和歌山) 662(329・333)		尾崎 寛人 (滋賀)		山本 雅也 (滋賀)		
成年女子	団体	静岡		長岡 光江 杉林 りな 杉本 智美	群馬	深澤 菜見 小川 千絵 遠間あずさ	京都	林 勇気 足立 奈穂 田中 仁菜
	個人	川中香緒里 (鳥取) 663(334・329)		古田 悠 (和歌山)		杉本 智美 (静岡)		
少年男子	団体	広島		河田 悠希 泉 雄也 奥 勇登	福岡	永友 隼斗 塚本 和広 古賀 大輝	千葉	齋藤 幸 高野橋良篤 大吉 悠介
	個人	河田 悠希 (広島) 667(337・330)		泉 雄也 (広島)		溝脇 史也 (長崎)		
少年女子	団体	滋賀		松川 智子 田中 千尋 井上 綾乃	長崎	瀬川 聖奈 岸川 榛菜 相川 一葉	愛媛	奥村 佳子 矢野 朝香 若藤綺英羅
	個人	奥村 佳子 (愛媛) 607(304・303)		瀬川 聖奈 (長崎)		中野 遥 (千葉)		

第71回		第1位 滋賀県	第1位 静岡県	平成28年
男女総合		第2位 静岡県	女子総合 第2位 愛媛県	
希望郷いわて国体		第3位 長崎県	第3位 東京都	岩手県雫石町
種別	区分	第 1 位	第 2 位	第 3 位
成年男子	団体	神奈川 田畑隼剛 大井一輝 大貫渉	滋賀 尾崎寛人 山本雅也 杉本翔太	広島 菊地栄樹 岩田歩 河田悠希
	個人	池田亮 (東京) 650(329・321)	菊地栄樹 (広島)	岩田歩 (広島)
成年女子	団体	長崎 永峰沙織 早川漣 久原千夏	静岡 杉本智美 竹川佳甫 鳥居佳世	滋賀 服部由莉 前野愛 西野汐梨
	個人	永峰沙織 (長崎) 643(324・319)	早川漣 (長崎)	加藤綾乃 (大分)
少年男子	団体	広島 光永嶺 堀大樹 木村翔大	長崎 青島鉄也 酒井孝大 中島由陽	静岡 加藤大宙 鈴木怜欧 辻昇平
	個人	青島鉄也 (長崎) 645(327・318)	戸松大輔 (愛知)	光永嶺 (広島)
少年女子	団体	東京 木村美保 古川由紀乃 鈴木日和	愛媛 小原佳子 清水栞奈 阿部奈都美	兵庫 上原瑠果 室屋郁乃 徳田梨彩
	個人	大橋朋花 (岐阜) 608(300・308)	中村美優 (北海道)	小原佳子 (愛媛)
第72回		第1位 東京都	第1位 山形県・静岡県・福岡県	平成29年
男女総合		第2位 山形県	女子総合 第2位	
愛顔つなぐえひめ国体		第3位 愛知県	第3位	愛媛県今治市
種別	区分	第 1 位	第 2 位	第 3 位
成年男子	団体	神奈川 大貫渉 大井一輝 田畑隼剛	愛知 野村翼 近藤直哉 不破俊典	東京 佐藤博乙 窪田晟也 池田亮
	個人	河田悠希 (広島) 675(332・343)	大貫渉 (神奈川)	大井一輝 (神奈川)
成年女子	団体	岩手 川渕真弓 吉田美紅 畠山佳菜子	愛知 平美香 堀口理沙 柴田朋佳	山形 船見真奈 富樫郁奈 中村美樹
	個人	川中香緒里 (鳥取) 643(321・322)	久原千夏 (福井)	入江優 (岡山)
少年男子	団体	兵庫 中川光造 岩佐永寿 岡崎恭輔	佐賀 畑瀬隆嗣 井上陸離 丸山瑛平	山形 石川竜也 照井翔太 佐藤久伸
	個人	石川竜也 (山形) 647(321・326)	山本陽生 (千葉)	石井佑哉 (東京)
少年女子	団体	東京 古川由紀乃 松山菜々花 矢島萌音	福岡 小田楓恋 矢原七海 野田紗月	静岡 渡邊麻央 中村美兔 高橋莉歩
	個人	渡邊麻央 (静岡) 615(304・311)	井上鈴夏 (大阪)	高見愛佳 (長崎)
第73回		第1位 大阪府	第1位 埼玉県・大阪府	平成30年
男女総合		第2位 福井県	女子総合 第2位	
福井しあわせ元気国体		第3位 岩手県・埼玉県・広島県・熊本県	第3位 岩手県・山形県・静岡県・岐阜県	福井県福井市
種別	区分	第 1 位	第 2 位	第 3 位
成年男子	団体	大阪 鬼山直也 古川高晴 門澤稜	愛知 武藤弘樹 近藤直哉 野村翼	神奈川 大井一輝 大貫渉 田畑隼剛
	個人	鬼山直也 (大阪) 665(332・333)	古川高晴 (大阪)	武藤弘樹 (愛知)
成年女子	団体	埼玉 大澤妃奈乃 木下あすか 中西菜津子	岐阜 西村紗芳 大橋朋花 杉村りな	福井 小城碧 久原千夏 服部由莉
	個人	西村紗芳 (岐阜) 631(310・321)	大橋朋花 (岐阜)	富樫郁奈 (山形)
少年男子	団体	広島 伊藤魁晟 西川柊也 土居野樹	千葉 根本鷹嗣 溝口裕也 松村知哉	坂本 坂本隆道 井上陸離 宮崎勇斗
	個人	戸松大輔 (愛知) 656(320・336)	伊藤魁晟 (広島)	戸田悠登 (熊本)
少年女子	団体	大阪 松下千華 居樹佳奈江 上田愛奈	静岡 渡邊麻央 疋田芽唯 村木淑乃	鳥取 坪倉麻衣 山本志織 高島美純
	個人	小野寺みずき (岩手) 611(298・313)	渡邊麻央 (静岡)	園田稚 (大分)

第74回		第1位 大阪府	第1位 大阪府	令和元年
男女総合		第2位 広島県・山口県	女子総合	第2位 岩手県・愛媛県
希望郷いわて国体		第3位	第3位	茨城県つくば市
種別	区分	第 1 位	第 2 位	第 3 位
成年男子	団体	大阪 古川高晴 鬼山直也 小野純一朗	神奈川 大井一輝 大貫渉 田畑隼剛	愛知 戸松大輔 武藤弘樹 野村翼
	個人	古川高晴 (大阪) 660(326・334)	菊地 栄樹 (広島)	河田 悠希 (広島)
成年女子	団体	岩手 川渕真弓 小野寺まどか 岩渕萌	大阪 杉本智美 加藤綾乃 川中香緒里	岡山 入江優 居樹佳奈江 青木菜保子
	個人	堀口理沙 (広島) 637(320・317)	杉林 りな (岐阜)	杉本 智美 (大阪)
少年男子	団体	広島 伊藤魁晟 松川智哉 市林祥磨	三重 田木亮成 佐藤優成 普久原恵治	大阪 藤井望 平林真知 松見翔太
	個人	宮成孝輔 (大分) 627(313・314)	伊藤 魁晟 (広島)	松川 智哉 (広島)
少年女子	団体	愛媛 舟見舞姫 小原佳子 勝本由奈	山口 末長愛美 藤田寿里 小畑響子	長崎 高見愛佳 朝永絵梨佳 高見朋夏
	個人	山中乃絵留 (岐阜) 618(310・308)	舟見 舞姫 (愛媛)	高見 愛佳 (長崎)
第75回		令和2年		
燃ゆる感動かごしま国体		中 止		
		鹿児島県鹿児島市		
第76回		令和3年		
三重とこわか国体		中 止		
		三重県松阪市		
第77回		第1位 大阪府・大分県	第1位 大分県	令和4年
男女総合		第2位	女子総合	第2位 静岡県
いちご一会とちぎ国体		第3位 東京都	第3位 山形県・大阪府	栃木県那須烏山市
種別	区分	第 1 位	第 2 位	第 3 位
成年男子	団体	愛知 戸松大輔 武藤弘樹 舟橋悠矢	群馬 市川遼治 大塚謙史 森田伊心	東京 平林真知 山本博 小林司
	個人	桑江良斗 (山口) 667(329・338)	古川高晴 (大阪)	山本博 (東京)
成年女子	団体	静岡 杉本智美 山内梓 渡邊麻央	山形 岸塚美樹 阿部詩野 星野爽来	大分 加藤綾乃 園田稚 末松愛梨
	個人	中村美優 (北海道) 661(336・325)	岸塚美樹 (山形)	園田稚 (大分)
少年男子	団体	三重 柴田貫嗣 島中康有 横山佳史	岐阜 斉藤史弥 野田慶一郎 松岡天丸	大阪 杉山獅暁 白井航惺 加守田亮太
	個人	斉藤史弥 (岐阜) 669(336・333)	白井航惺 (大阪)	柴田貫嗣 (三重)
少年女子	団体	大分 澤田こころ 石井美羽 渡邊芽吹	大阪 三輪紗愛 和田蒼 角絵里花	滋賀 原田愛実 勝見麗 塩見菜央
	個人	大田楓子 (鹿児島) 626(309・317)	吉田光里 (岩手)	石井美羽 (大分)
特別		第1位 広島県	第1位 大分県	令和5年
男女総合		第2位 愛知県	女子総合	第2位 広島県・福岡県
燃ゆる感動かごしま国体		第3位 大分県	第3位	鹿児島県鹿児島市
種別	区分	第 1 位	第 2 位	第 3 位
成年男子	団体	愛知 戸松大輔 武藤弘樹 舟橋悠矢	広島 河田悠希 伊藤魁晟 住谷和輝	神奈川 奥村礼矢 大貫渉 瀬川楼介
	個人	河田悠希 (広島) 682(338・344)	青島鉄也 (長崎)	武藤弘樹 (愛知)
成年女子	団体	広島 堀口理沙 樽本邑里 森帆乃花	大分 園田稚 加藤綾乃 朝久野奈波	京都 安久詩乃 林勇氣 上野百子
	個人	園田稚 (大分) 664(333・331)	杉本 智美 (静岡)	安久詩乃 (京都)
少年男子	団体	福岡 吉村知弥 井上岳 高田顕照	愛知 大木倭 山本雄大 堀尾慶太	大阪 白井航惺 高井志道 富吉優心
	個人	白井航惺 (大阪) 657(331・326)	阪尾尚優汰 (岐阜)	松岡天丸 (岐阜)
少年女子	団体	大分 澤田こころ 石井美羽 渡邊芽吹	大阪 和田蒼 泉華蓮 今井希海	山口 河村笑莉 小川歩海 小泉千咲
	個人	今井希海 (大阪) 649(328・321)	和田蒼 (大阪)	五関 咲子 (東京)

国体記録

(2005年 第60回大会以降)

種別	種目	選手名	所属	記録	大会名	
少年女子	70m ラウンド(72射)	今井 希海	広島県	649	特別鹿児島国体	
	TEAM (3名×72射)	今井 希海	大阪府	649	1894	特別鹿児島国体
		和田 蒼		628		
		泉 華蓮		617		
成年女子	70m ラウンド(72射)	川中 香緒里	鳥取県	667	第69回長崎国体	
	TEAM (3名×72射)	杉本 智美	静岡県	659	1942	特別鹿児島国体
		山内 梓		650		
		渡邊 麻央		633		
少年男子	70m ラウンド(72射)	斉藤 史弥	岐阜県	669	第77回栃木国体	
	TEAM (3名×72射)	河田 悠希	広島県	667	1968	第70回和歌山国体
		泉 雄也		661		
		奥 勇登		640		
成年男子	70m ラウンド(72射)	河田 悠希	広島県	682	特別鹿児島国体	
	TEAM (3名×72射)	河田 悠希	広島県	675	1999	第72回愛媛国体
		岩田 歩		663		
		菊池 栄樹		661		

日本記録【アウトドア・リカーブ部門】

オリンピックラウンド

2024年8月19日現在

種別	種目	選手名	所属	記録	日付	
U21 女子	70m ラウンド	鈴木 さくら	同志社大学	679	2024/5/12	
	TEAM (3名×72射)	上原 瑠果	日本	653	1948	2019/11/23
		大橋 朋花		650		
		渡邊 麻央		645		
一般女子	70m ラウンド(72射)	杉本 智美	大阪府	684	2024/6/23	
	TEAM (3名×72射)	野田 紗月	日本	668	1993	2024/5/22
		園田 稚		651		
		上原 瑠果		674		
U21 男子	70m ラウンド(72射)	戸松 大輔	学ア連	687	2019/9/14	
	TEAM (3名×72射)	舟橋 悠矢	近畿大学	665	1979	2022/6/18
		古谷 湊太		662		
		宮成 孝輔		652		
一般男子	70m ラウンド(72射)	古川 高晴	大阪府	692	2018/11/13	
	TEAM (3名×72射)	岩田 歩	チーム エディオン	681	2031	2020/7/26
		河田 悠希		680		
		菊地 栄樹		670		

世界記録

オリンピックラウンド

2024年8月19日現在

種別	種目	選手名	所属	記録	日付
U21 女子	70m ラウンド(72射)	NAM SUHYEON	KOREA	688	2024/7/25
	TEAM (3名×72射)	SUHYE JO	KOREA	2004	2023/6/6
		JO HANYI			
		HAN SOL			
一般女子	70m ラウンド(72射)	LIM SIHYEON	KOREA	694	2024/7/25
	TEAM (3名×72射)	CHANG HYE JIN	KOREA	2053	2018/5/21
		KANG CHAE YOUNG			
		LEE EUN GYONG			
U21 男子	70m ラウンド(72射)	METE GAZOZ	TURKEY	698	2019/4/9
	TEAM (3名×72射)	JI YECHAN	KOREA	2024	2024/6/6
		CHOI CHULJUN			
		PARK EUN SUNG			
一般男子	70m ラウンド(72射)	BRADY ELLISON	U.S.A	702	2019/8/7
	TEAM (3名×72射)	IM DONG HYUN	KOREA	2087	2012/7/27
		KIM BUBMIN			
		OH JIN HYEK			

関係機関・大会関係連絡一覧

<実行委員会事務局>

名 称	所 在 地	電話番号
SAGA2024 鹿島市実行委員会事務局	鹿島市大字納富分 2643 番地 1	0 9 5 4 - 6 3 - 2 1 2 5

<競技会場>

名 称	所 在 地	電話番号
鹿島市陸上競技場	鹿島市大字納富分 5900 番地	0 9 5 4 - 6 3 - 1 5 2 0

<警察>

名 称	所 在 地	電話番号
鹿島警察署	鹿島市大字中村 900 番地 15	0 9 5 4 - 6 3 - 1 1 1 1

<消防>

名 称	所 在 地	電話番号
鹿島消防署	鹿島市大字中村 1575 番地	0 9 5 4 - 6 3 - 1 1 1 9

<医療機関>

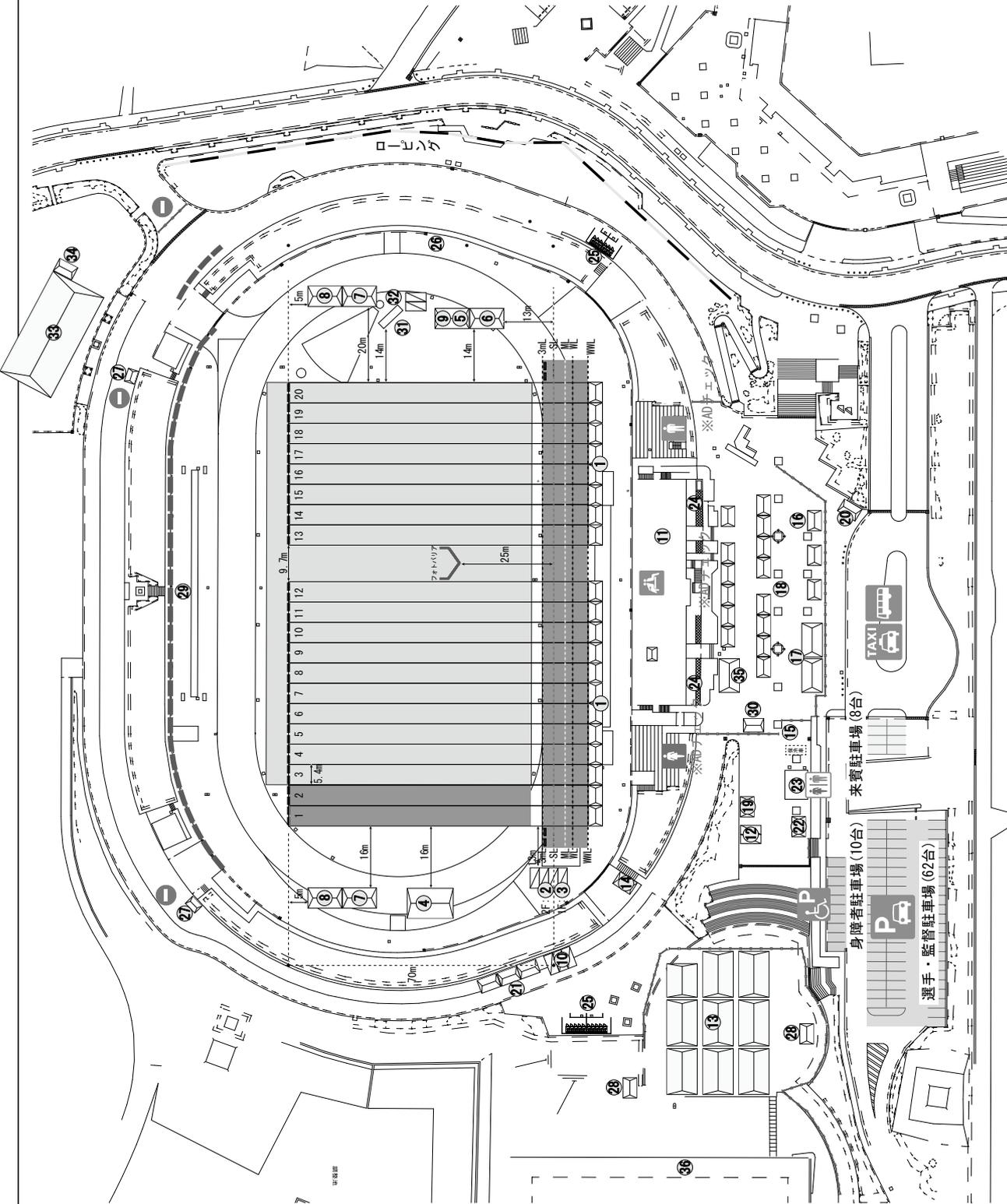
名 称	所 在 地	電話番号
社会医療法人 祐愛会織田病院	鹿島市高津原 4306 番地	0 9 5 4 - 6 3 - 3 2 7 5
医療法人 犬塚病院	鹿島市高津原 602 番地 3	0 9 5 4 - 6 3 - 2 5 3 8

<佐賀県医療機関情報・救急医療情報システム>

名 称	U R L	QR
99さがネット	https://www.qq.pref.saga.jp/	

競技会場案内図

番号	名称
①	選手テント
②	DOS・放送席
③	競技本部
④	審判員テント
⑤	視察員・報道員席
⑥	福祉席
⑦	補助員テント
⑧	用具テント
⑨	来賓・関係者席
⑩	実施本部
⑪	記録・得点集計室
⑫	救護室
⑬	選手・監督控所
⑭	ドリンクコーナー
⑮	弁当引換所
⑯	総合案内・受付所
⑰	休憩所
⑱	売店・ふるまいコーナー
⑲	環境美化本部
⑳	輸送交通本部
㉑	競技係員控所
㉒	ごみ集積所
㉓	常設トイレ (選手・関係者用)
㉔	常設トイレ (一般用)
㉕	仮設トイレ (選手用)
㉖	福祉トイレ
㉗	後方警備員控所
㉘	選手更衣室
㉙	防矢ネット
㉚	選手・監督受付所
㉛	大型ビジョン
㉜	映像操作室
㉝	式典会場
㉞	式典準備テント
㉟	体験コーナー
㊱	練習会場
㊲	練習会場DOS
㊳	練習会場用具テント
㊴	練習会場補助員テント
㊵	練習会場選手テント
㊶	練習会場受付テント



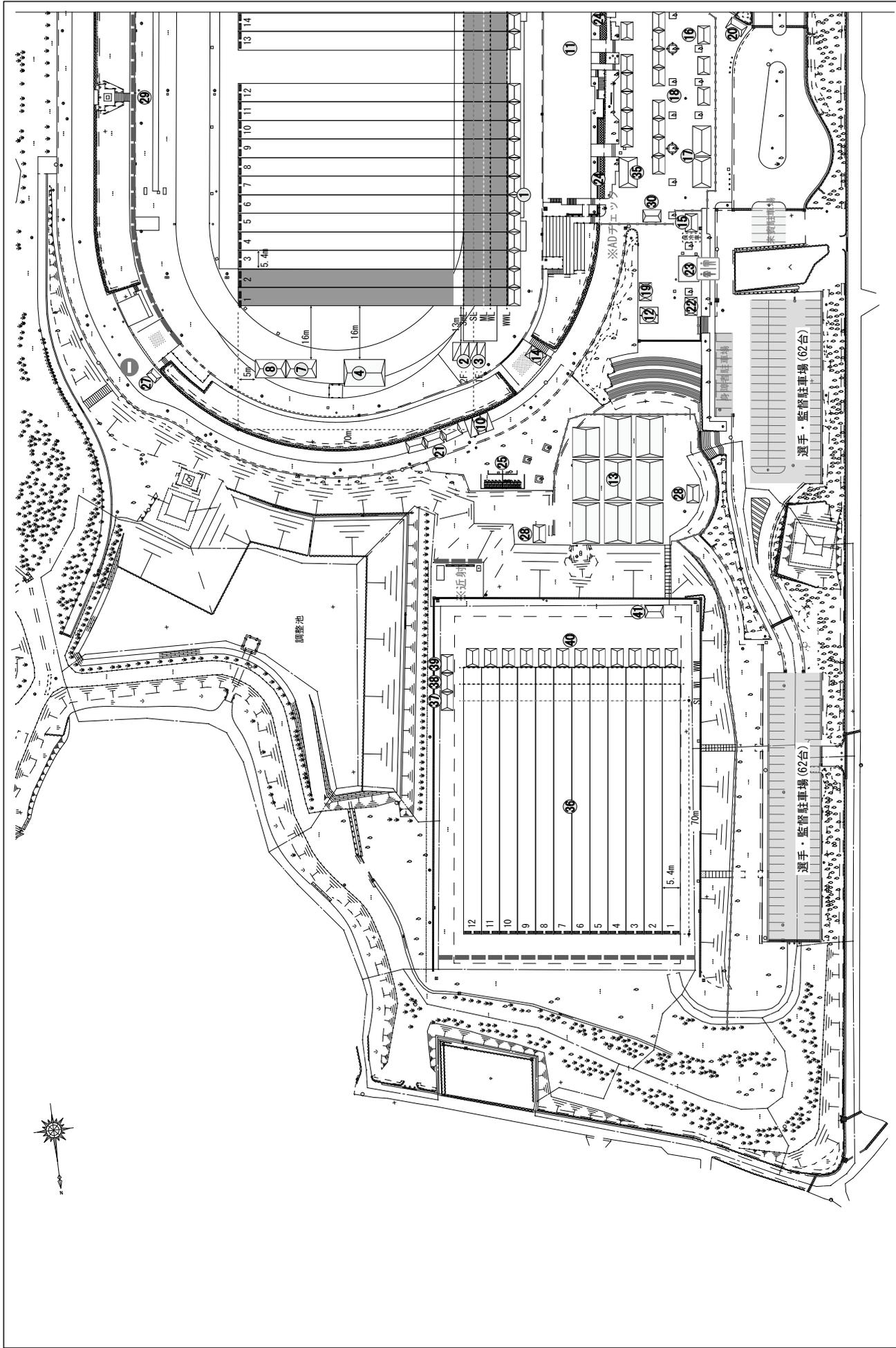
SAGA 2024 国スポ
全障スポ
新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

競技名
SAGA2024国スポ アーチェリー競技会

会場名
鹿島市陸上競技場

図面名
会場配置図 (10月5日)

縮尺
1/1000 (A3)



<p>SAGA 2024 国スポ 新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。</p>	<p>競技名 SAGA2024国スポ アーチェリー競技会</p>	<p>会場名 鹿島市陸上競技場</p>	<p>図面名 練習会場付近配置図</p>	<p>縮尺 1/1000(A3)</p>
--	--	-------------------------	--------------------------	--------------------------

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、
また誰に対してであっても、スポハラは起こりえます。



この活動は、スポーツ振興(財)助成金を受けて実施しています

『スポハラ』根絶に向けた取組み



JSPPO
Japan Sport Association

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント
(暴力・暴言・ハラスメントなど)に、
みんなが『NO!』と言う社会を目指して



ぼうりよくこういとうそうだんまどぐち スポーツにおける暴力行為等相談窓口



りょうかのう
どなたでもご利用可能!

きがる そうだん
お気軽にご相談ください

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書»



JSPPO事業についてはこちら»»JSPPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」



『スポハラ』根絶に向けた取り組み



グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開

グッドコーチを目指して

グッドコーチなら? / バッドコーチなら? /



ケーススタディから考える

ケーススタディから考える
グッドコーチング

グッドプレーヤーのさらなる発展を助けて

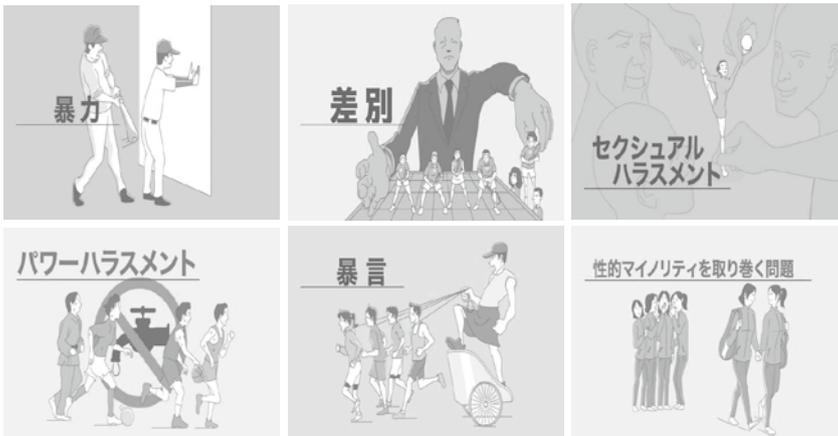
Workbook

SPORT
JSPPO OFFICIAL LICENSEE

JSPPO グッドコーチ



スポーツ現場におけるハラスメント防止動画の公開



JSPPO ハラスメント防止



「NO！スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

＜過去開催した研修会等の動画公開＞



＜ポスター・ロゴ等広報ツール＞



「NO！スポハラ」活動特設サイトにて公開中！

アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。
これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続きにより、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟 公益財団法人 日本中学校体育連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構



挑戦者たちは越えようとする。
 記録を。ライバルを。自分自身を。
 過去の常識も。世界の価値観さえも。
 挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
 これまでも、そしてこれからも、
 わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
 スポーツの持つ様々な可能性で、
 望む未来へたどり着くために。



スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。



大塚製薬

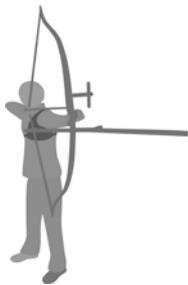


三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信



SAGA 2024 国スポ 全障スポ

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

記録速報配信サイト

下記の記録速報掲載専用サイトにおいて
確認していただくことができます。

※ 記録速報は PDF 形式で掲載いたしますので、PDF が閲覧できる環境が必要です。



スマートフォン・携帯電話の方は
左の二次元バーコードを読み取って今すぐアクセス！

以下のURLよりアクセスしてください。

<https://www.fs-sports.jp/ac/2024kokutai>

SAGA 2024 国スポ 会場地



玄海町

- 相撲

大町町

- 銃剣道
- ▲ ウォーキング



小城市

- バレーボール
- ハンドボール
- ソフトボール
- ◆ バレーボール 精神

伊万里市

- 水泳(オープンウォータースイミング)
- ホッケー
- バレーボール(ビーチバレーボール)
- 軟式野球
- ◆ フライングディスク 身体 知的

基山町

- 卓球
- パワーリフティング
- ▲ 草スキー
- ◆ 卓球 身体 知的 精神
- ※サウンドテーブルテニスを含む
- 卓球バレー

みやき町

- バレーボール
- ソフトボール

多久市

- 弓道
- スポーツクライミング

江北町

- ソフトボール
- ▲ 3B体操

有田町

- ウェイトリフティング
- 軟式野球
- ▲ 皿かぶり競走

唐津市

- バスケットボール
- セーリング
- ソフトテニス
- 軟式野球
- バドミントン
- トライアスロン
- 綱引
- ▲ スケートボード
- ▲ 滝登り
- ▲ ユニカール
- ◆ バスケットボール 知的
- ◆ 車いすバスケットボール 身体
- パラサーフィン

嬉野市

- レスリング
- 軟式野球
- なぎなた
- 武術太極拳
- ▲ スポーツチャンバラ
- ◆ ポッチャ 身体
- 電動車椅子サッカー

鹿島市

- 軟式野球
- アーチェリー
- グラウンド・ゴルフ
- ▲ さわやかグラウンド・ゴルフ
- ▲ バグー
- ◆ アーチェリー 身体

太良町

- ソフトボール
- ▲ マリンスポーツ
- ◆ ソフトボール 知的

白石町

- ソフトボール
- ▲ ソフトバレーボール
- ◆ グランドソフトボール 身体

武雄市

- 自転車(トラックレース)
- 軟式野球
- ゴルフ
- エアロビック
- ▲ スポーツウエルネス吹矢
- ▲ チャレンジ・ザ・ゲーム
- スポーツウエルネス吹矢

佐賀市

- 陸上競技
- 水泳(競泳、飛込、水球、アーティスティックスイミング)
- サッカー
- テニス
- ローイング
- バレーボール
- 体操(競技、新体操、トランポリン)
- フェンシング
- 柔道
- ライフル射撃(25m)
- ラグビーフットボール
- カヌー(スプリント)
- クレー射撃
- ボウリング
- ▼ 高等学校野球(硬式)
- バウンドテニス
- ▲ 合気道
- ▲ スカットボール
- ▲ パークゴルフ
- ▲ ビリヤード
- ▲ ラダーゲッター
- ▲ ロープ・ジャンプ・X
- ◆ 陸上競技 身体 知的
- ◆ 水泳 身体 知的
- ◆ ボウリング 知的
- ◆ バレーボール 身体
- ウォーキングフットボール
- ソーシャルフットボール

吉野ヶ里町

- バレーボール
- ハンドボール
- ▲ アジャタ

鳥栖市

- サッカー
- バレーボール
- 空手道
- ▼ 高等学校野球(軟式)
- ゲートボール
- ▲ 室内ペタンク
- ▲ スポGOMI
- ▲ ラージボール卓球
- ◆ バレーボール 知的
- ◆ サッカー 知的

上峰町

- ソフトボール
- ▲ クップ
- ▲ シャッフルボード
- ◆ フットソフトボール 知的
- ふうせんバレーボール



- 国スポ 正式競技
- ▲ 国スポ デモンstrーションスポーツ
- ▼ 国スポ 特別競技
- ◆ 全障スポ 正式競技
- 国スポ 公開競技
- 全障スポ オープン競技

県外開催

- 自転車…… 大分県日田市
- ライフル射撃…… 大分県由布市(50m、10m、ビームライフル、ビームピストル)
- 馬術…… 兵庫県三木市
- カヌー(スラローム、ワイルドウォーター)…… 鹿児島県湧水町

SAGA 2024

国スポ・全障スポ
新しい大会へ。
すべての人に、スポーツのチカラを。

競技記録結果

第78回国民スポーツ大会の正式競技、特別競技の競技記録結果を掲載しています。

開設期間：2024年8月26日(月)～12月13日(金)

▶ インターネット・携帯サイト

PC・スマホ

<https://kirokukensaku.net/5NS24/index.html>

フィーチャーフォン

<http://kirokukensaku.net/5NS24/mob/index.html>

PC・スマホ



フィーチャーフォン



SAGA2024 鹿島市実行委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1

TEL:0954-63-2125 FAX:0954-63-2313

表紙デザイン制作：鹿島高等学校 美術部・書道部



リサイクル適性 **(B)**

この印刷物は、板紙へ
リサイクルできます。